

幼 兒 教 育

第 三 十 卷 一 月 一 號 第 一 號



東 京 女 子 高 等 師 範 學 校 內
日 南 幼 稚 園 協 會

廣島高等師範學校教授
文部博士
久保良英
先生新著

兒童研究所紀要 卷十二

大判洋裝全一冊
定價三圓五角
送料金拾八錢

教育的に先進國たる歐米諸國に於ては、既に將來國家の構成に重要な位置を占むべき兒童を心理的、生理學的に研究して、純粹なる學理的に研究して、其効果を收めんと企て右施設に巨額の費用を擲つて惜まざる今日、獨り我邦に、該機關の絶無なるを概し、久保博士等同志が私財を投じて設立せられたる木研究所の貴重なる研究の發表は、恒に現代教育家の根柢的權威、最新智識として學界に推獎せらるる

二十卷內容目次

- 性行検査法の試み 文部博士、文部士、久保良英
- 作業に現はれたる注意の形に就て 文部博士、文部士、久保良英
- 個性調査の情意的的一面——文部士 桐原 葆 見
- 兒童の身體的及精神的に發育に及ぼす季節的影響の研究 文部博士、文部士、久保良英
- 精神發達に應ずる轉導及應時間の變化 文部博士、文部士、久保良英
- 尋常小學校に於ける算術應用問題の分類 文部博士、文部士、久保良英
- 一般智能検査の再検査成績 文部博士、文部士、久保良英
- 入學當初智能検査に關する研究的考察一二 文部博士、文部士、久保良英
- 青年期に於ける自己意識に就て 文部博士、文部士、久保良英
- 海外新著論文抄録 文部博士、文部士、久保良英

兒童研究所紀要

- 1 2 3 4 合輯 洋綴・背皮・紙數一千百餘頁 定價九圓 拾錢送料五拾四錢
- 5 6 7 合輯 洋綴・背皮・紙數千貳百餘頁 定價拾圓五拾錢送料五拾四錢
- 8 9 10 合輯 洋綴背皮天金紙數二千三百餘頁 定價拾圓五拾錢送料五拾四錢

智能検査定用器具

ポール紙型箱入
一組參圓送料拾八錢

智能の査定が手軽に出来る。兒童研究所
紀要の實際的研究唯一の用具。

團體的智能検査用紙BA式

大判全二冊
定價各冊參錢

本用紙は久保先生の考案になる兒童智識
検査用紙團體的用具

生徒募集

本科生 四十名

研究科生 若干名

願書受付 三月三十一日まで
規則書は貳錢郵券封入申込まれよ

創立以來十四年。

大正五年東京市麴町區に創立。

昭和二年武藏野の一遇なる現在地に新築
附近に森あり、川あり、野ありて四時自
然の恩恵をうけ、本校の特色とする、自
然觀察、博物採集、自然物應用の手工材
料豊富なり。

玉成保姆養成所

所長 ソフヤ アアラベラ アルウキン

東京市外高井戸町中高井戸 一三三
省線西荻窪下車直南約五丁

謹んで昭和第五年の
新正を賀し奉る

昭和五年一月元旦

日本幼稚園協會
役員一同



第 三 十 卷 幼 兒 教 育 第 一 號

—(次 目)—

口 繪 賀陽宮家へ献上の立體紙摺									
人形芝居「花咲爺」									
商ひ遊									
昭和五年を迎へて	堀	七	藏	(二)					
醫師の立場より視たる幼稚園と幼兒の傳染病	島								
短信 (一) ……にじみ出る教育	倉	橋	惣	三	(八)				
保育時間に關する諸問題(一)	堀	七	藏	(二)					
保育座談會——談話について									(二〇)
立體紙摺について	林	叔	子	(三)					
子どもの歌よみ	金	子	彦	二	郎	(三)			
人形芝居	菊	池	フ	孝	子	(三七)			
附「花咲爺」	白	根	美	智	子	(四〇)			
紙を主としての製作	附								
商ひ遊	大	阪	市	立	精	華	幼	稚	園
(四)									
桃太郎カルタ	米	山	エ	ン	(五)				
休の日に	大	塚	喜	一	(六)				
丸ばかりで作る切抜細工	山	形	寛	(六)					
福 壽 草	大	岩	金	(七)					

東京女子高等
師範學校講師

金子彦二郎先生新著

(價至廉・内容飛切)

最新刊

新作打たずに鳴る太鼓

美本函入三八〇頁
定價一圓三十錢
送料十錢

読んで面白く聞かせて喜ばれる趣味の新童話集!!

全國各學校圖書必備

かねて本誌でも馴染の金子先生の新作童話集が出ました。國文學者で教育家で名文家の著者が、その優婉豊麗な筆觸と兒童愛に躍る心とを以て愛兒の爲に書かれた名作二十篇は、悉く幼少年達の純な心と睿知とを培ふ無限の甘泉で、又子女を持つ親兒童教養の任にある先生方の説話の無盡の寶庫であります。是非一本を!

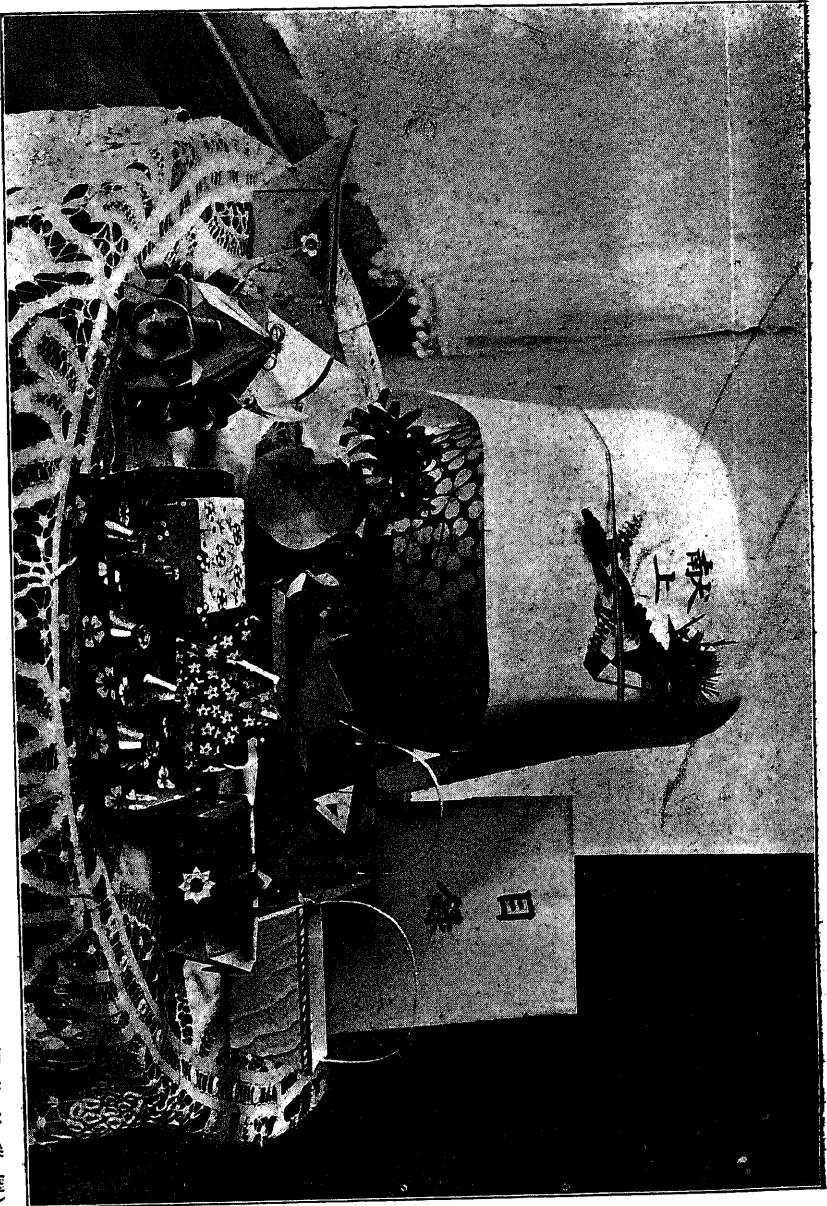
近刊 豫告

東京女高師教授兼幼稚園主事 堀七藏先生新著

歐米の幼稚園並に小學低學年教育の實際

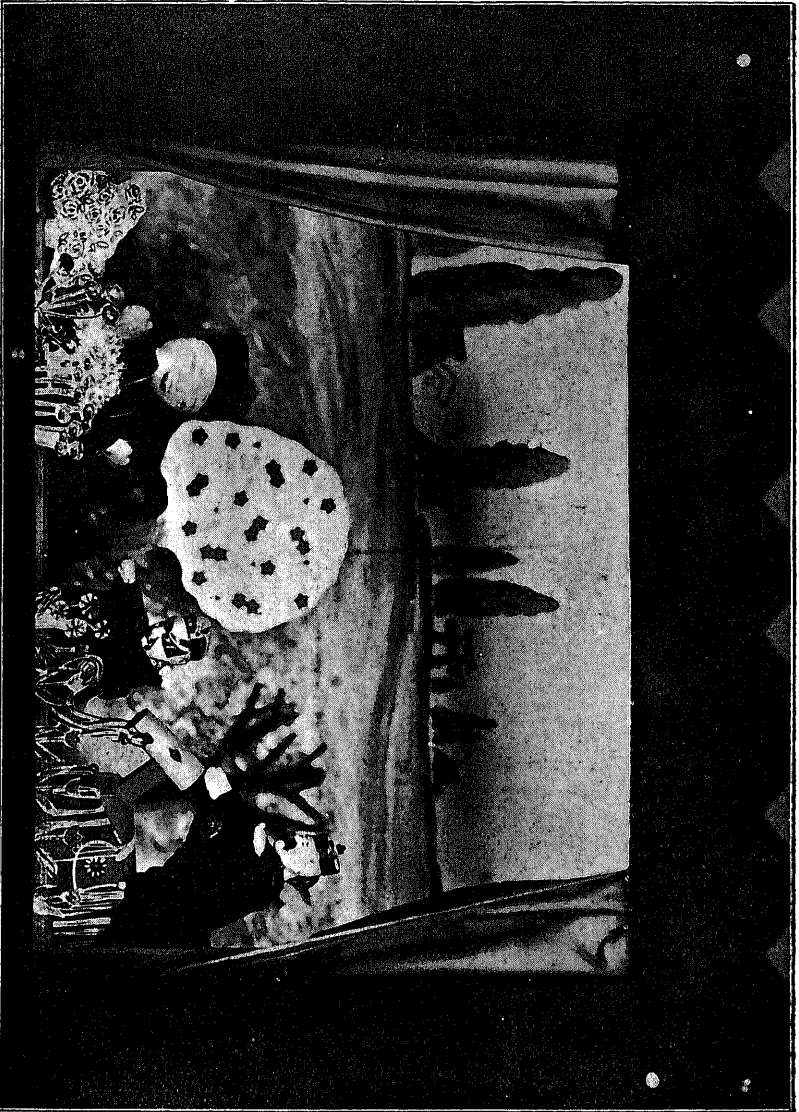
美しい挿繪と書換へられ、書き加へられた内容からなる權威的名著。

發行所 振京市外杉並町四七四番 五八寺園 四九番 昭々閣書房



昭和四年十月賀陽宮家へ献上

(静岡櫻花幼稚園)



人形芝居、(花咲翁)

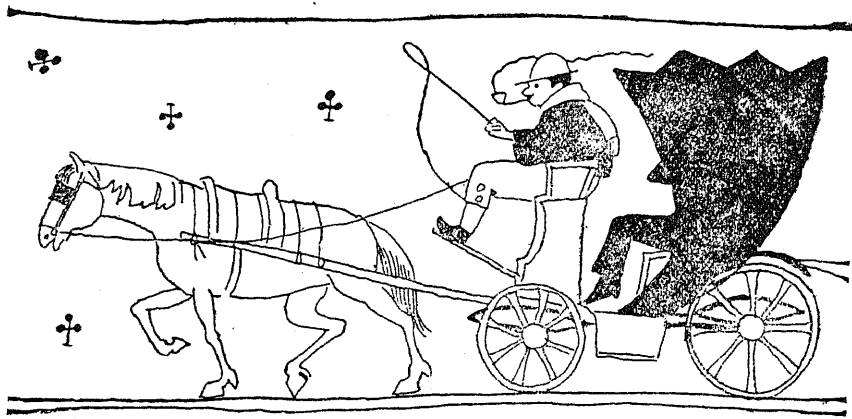


人形芝居の人形 (左より、脱離人形、布人形、箱人形、布人形)



南 以 遊

(大阪市立精華幼稚園)



第 一 號 幼 兒 教 育 第 三 十 卷

昭 和 五 年 一 月

一、教育で家庭教育位重要なものはありません。家庭教育の良否は實に人一生を支配し國家の發展を左右するのであります。最近の學術は益々家庭教育の重大なる使命を立證し近時の社會現象は善良なる家庭教育の必要を痛感せしめてゐます。

一、家庭教育の短を補ひ幼児の心身を充分に發達せしめ將來受くべき學校教育の基礎を築くものは幼稚園保育であります。幼稚園保育の重視すべきことは天下一人も異議がないのであります。

一、幼児の教育は本邦唯一の幼稚園保育に關する發表機關であります。而してまた本邦唯一の家庭教育雜誌であります。

一、幼児の教育は幼児の教育、即ち家庭に於ける教育と幼稚園に於ける教育、更に小學校初學年教育に關する事項は細大となく網羅し、以て家庭教育の向上を計り、幼稚園保育の進歩發展を期する大抱負をもつて産れたもので有ります。

昭和五年を迎へて

堀 七 藏

物の道理からいへば元日は大晦日の延長であるから、大晦日がお目出たくなれば元日もお目出度くない譯でありませう。しかしそれは特につむじ曲りの知的な理窟で、萬人均しく新年を祝し元日を喜ぶのは人情であります。元日がお目出度く、新年を祝するが如く、私は昭和五年を期して幼稚園教育の發展を熱望するものであります。實に昭和五年は我が國幼稚園教育が創始せられて五十五年に相當するのであります。東京女子高等師範學校附屬幼稚園が創立開園せられたのが實に明治九年のことであります。

明治九年より大正の御代を経て、昭和の聖代に及び、茲に五十五年を數へるのであります。また我が國に於て幼稚園令が制定せられてから茲に五年の歳月を數へることも昭和五年を特に意味づける強い根據となるのであります。更に日本幼稚園協會の前身たるフレイベル會の創立せられたのが、明治三十年であります。當時我が國唯一の婦人雜誌にして幼児教育雜誌たる「婦人と子供」が、我が國の幼児教育に如何に貢獻する所が大であつたかを回想し、今日こそ婦人雜誌も多く子供の雜誌も多くなつてゐるが明

治時代天にも地にも我が國で唯一の「婦人と子供」が我が國の教育に如何に大功があつたかを考へ、更にその後健全に發育して茲に三十卷を數へる「幼兒の教育」の將來益々多幸ならんことを希ふとき、「實に昭和五年は只の年ではない。」といふ感に私の胸に滿ち／＼たるものがあります。私は昭和五年を迎へて、幼稚園教育者諸君と共に我が國の幼稚園教育が益々發展して、數に於ても質に於ても幼稚園の益々發達進歩せんことに最善の努力を盡したいと希ふのであります。

紅葉の莖も紅さすあしたかな
園女

醫師の立場より觀たる幼稚園と幼兒の傳染病

四

醫學博士 島

信

一

所謂三つ兒の魂百迄にて幼兒の保育に就ては非常に注意しなければならない事は今更多言を要しない。家庭に於て充分教養が行届けば結構であるが、多くは其環境は常に大人相手であつて同年輩の友達と共同生活を營む機會を與へることが困難である。此の同年輩の者共が共同生活を營むことは無邪氣に喜戯する間にも各自の能力は發揮され年相應の友の行動を模倣し、互に誘掖切磋琢磨され其間我儘は自然と壓えられる事に於て非常に有益である。然し巷間に幼兒のみ集まりて遊び監督者なき時は屢々惡戯に傾き易く、殊に年長兒が仲間入して居る場合に於ては危険で、時に弊害のあるものである。上流の家庭に於て屢々認められる如く保姆を雇ひ幼兒の教養に努めて居る所では、教育の點は完全であるが此の同年輩の友達が無き事が缺點で、智に偏り所謂マセたり、或は甘やかされて我儘となり、自我強く一人天下と成り勝である。家庭の教養が怠られ自由に友を撰び勝手に遊ばして居る様な家庭の兒では何事を

も自らする良習は得られるが、粗暴野卑となり悪賢くなり易きもので、何れも一長一短である。幼稚園は同年輩の者を多數集めて共同生活を營まし専門の監督者ありて各自の長を延ばし短を補ひ悪習を矯正する所であるから、精神機能の發揮し始める幼児の保育には缺く可からざるもので、家庭の教養と相俟て幼児保育を完全にする唯一の機關で、人間一生の根本となる幼児の保育上必要なものである。

二

然るに一方幼児は傳染病に對し非常に鋭敏である。即ち小兒は生れた時は母體から種々疾病に對する免疫體を與へられて居り生後は多少母乳を介して供給され、爲めに生後六ヶ月位の間は一二の例外はあるが殆ど傳染病には罹患しないのである。然るに此の免疫は自分の體が作ったものではなく出來たものを母親から、供給されたものであるから早晚乳兒の體内から消失し自分の體からは未だ其生産能力がなく、従つて滿一年頃は殆ど免疫體の缺如した抵抗力の弱い一番危険期である。従て一年前後が傳染病例へば麻疹の死亡率が一番多いものである。其後は免疫體の生産が盛になり徐々に體内に自然免疫體が存在する様になり、年齢を増すに従ひ傳染病に罹り悪くなるものであるが、十歳以下の小兒は尙非常に罹り易い。幼兒は主として家庭内に生活する爲め傳染病に接する機會が殆どなき爲め罹患することは少いが、幼稚園に通ふ様になれば茲に傳染の機會が開け、往復の電車内にて感染することもあり、幼稚園内にて、感染することも非常に多い。通園の途中で感染の機會なきことが明かて傳染病に罹患した例もあ

り、其他幼稚園にて感染したとより思はれない場合に屢々相遇するものである。一般家庭に於ける衛生思想傳染病に關する智識の發達して居らぬ我國の現状では、幼稚園は宛も傳染病媒介所の如き感があるのである。

三

又屢々相遇する事實は幼稚園に通ふ小兒が傳染病に感染し其兒は抵抗力の強き爲め輕微で済むが、家庭に於て更に抵抗力の最も弱い傳染病に對し最も危険期に在る一二歳の弟妹に感染させ不幸の轉機を取ることである。百日咳麻疹に於て此の事は屢々認められる。從て幼稚園が幼兒保育を完成する唯一の最良機關であるに不拘、傳染病に就て考慮する時は幼稚園に通はせることは賛成出來兼ねるので私は常に幼稚園に入園せしむべきか否かの相談を受けた場合には、多くは否定して居るのである。其小兒が一人兒であるか長子であつて、健康な者或は同朋が多數あつても其兒の性質上或は家庭の事情によつて、同年輩の者と遊ばせる必要を認めた時に初めて幼稚園に入れることを進める方針を取て居る。小兒は年齢増加に従ひ抵抗力を増し傳染病に罹患しても其危険率は少くなるものであるから幼兒は出来るだけ感染の機會の無い様にしてやる必要がある。それで殊に虚弱な小兒であれば幼稚園は嚴禁し小學校へ行く迄の二年間を傳染の機會から避けさせて、強壯にする様専ら體育に心懸けさせる様に仕て居る次第である。

四

然らば此の有益なる幼稚園を傳染病の媒介所たらしめない様にする方法は如何。此れは傳染の機會を無くせば良いのであるから其根源である傳染病患者を通園せしめず、疑はしき小兒は全く傳染の憂なき事が確實になる迄は通園を禁じ、各自に於ては感染せぬ様豫防すればよいのである。これは至極簡単に思はれるが實際に於ては非常に困難である。家庭及幼稚園當事者の周到な注意と豫防知識の普及とによつて初めて完成されるのである。多くの傳染病は先づ熱を以て始まり、百日咳は輕微な嗽咳で始まるから、家庭に於ては少しでも熱があつたり咳嗽が出たりする場合には、幼稚園を休ませて其経過を見て健康になり初めて登園せしむべく、傳染病に罹患したときは醫師が傳染の憂なき事を斷言する迄は登園を差控ねばならない。一方幼稚園に於ては口腔及手の衛生に留意し含嗽、洗手を時々行はせ、尙醫師をして口腔の検査其他簡単な検査を時々行はせ、病人の有無を絶えず檢し、保母は其受持幼兒の状態に常に留意して患兒があれば早く此を見出して處分する様に心懸けることが必要である。

五

傳染病に就ての智識は傳染病豫防上最も必要な事であるから、茲に普通に見られる幼兒の傳染病に就て略述して参考に資し度い。(以下次號)

短 信

(二)

倉 橋 惣 三

にじみ出る教育

あなたの教育學說のほかに、教育方法のほかに——つまりは、與へようと意識し、意識的に與へてゐる教育のほかに、あなたからにじみ出る教育こそ、最も眞に、あなたが與へてゐる教育ではありませんか。

子ども達は、あなたの計畫の内に、指導の下に、その生活を發展せしめられ、個性を生長せしめられてゐる。子ども達として、それだけで既によき教育を受けてゐることに相違なく、あなたとしても、立派な仕事を果してゐられるに違ひありません。しかし、その計畫と指導の正しさは、教育としての普遍の正しさにほかならず、その効果も亦、教育といふものゝ効果にほかならない。但し、ほかならないと言つて、それが、それとしてもつ貴重さに一點一毫の輕さを意味させるものではありませんけれども、それだけが、あなたといふものが與へてゐる教育でないことは確かです。あなたといふ人から、いつと

もなくにじみ出で漂ひ出でゝゐる教育、それこそが、あなたが、あなたとして子ども達に與へてゐる教育ではありませんまいか。

子ども達は、今、あなたの傍に来てゐます。あなたの學問と經驗と、而して道德とによつて、その生活を補導、充實させられるほかに、日々に、あなたの人間的響きを聴き、人間的味ひをあぢはひ、人間的芳香を呼吸してゐます。それは、あなたが子ども達に聴かせようとしてゐる響きでもなく、味はせようとしてゐる味ひでもなく、呼吸させようとしてゐる香りでもありません。のみならず、ことによると、あなた自らが心づいてさへゐないものが多いでせう。——人間は、時としては、自分がつてゐると思ふ響きや味ひや香りと、全く異つたものをもつてゐることさへあるものだ。——しかも、子ども達は、日々に、それを、あなたから、うつり香に染みるように受け取つてゐるのです。そして、あなたの傍へ來てゐるらしい教育をされてゐるのです。勿論、彼等自ら何も心づかずに。

さて、あなたから、にじみ出でゐる教育は……私は、何も、かういつて、あなたを問ひつめようとするような無禮の心で此の文を書いてゐるのではありません。たゞ、日々、子ども達の傍にゐるといふところが、如何に、意識や其の場の努力だけでは何うすることも出来ない、ほのかに、こまやかな、微妙の部分をもつてゐるものであるかといふことを、深く考へさせられずにゐられないのです。そして、その

部分こそ、年長の子どもよりも、幼い子どもの場合程、一層教育の主要分をなすものであることを、併せて、強く思ひやらすにゐられないのです。あなたゆへにこそ行はれてゐる。此のちのづからなる教育、それは、なんとといふ嚴かな事實なのでありませう。

よき知識、よき技倆をもつて教育して呉れる人は、子ども達のために有り難い教育者です。しかも、その人からにじみ出るよきものを以て教育されることは、子ども達にとつて、絶對の幸福です。あなたの方に來なければ決して得られなかつた教育なのですから。その反對に、その人からにじみ出る悪さも、それを以て教育せられることは、その子ども達のために、運命にも似た不幸です。

保育時間に關する諸問題 (一)

堀 七 藏

一、保育時數

保育時數に關しては幼稚園令にも同施行規則にも何等規定する所がありません。幼稚園令施行規則第六條に於て「幼稚園に於ては保育項目、保育時數、組數等に應じ必要な員數の保母を置くことを要す」とあります。この中に「保育時數」といふ文句がありますが保育時數に關しては何等の規定がありません。小學校令施行規則などには授業時數が學科に應じて詳細に規定してあります。尋常小學第一學年に於ては毎週十八時の授業時數があります。そして第二學年第三學年と教科目の増加等に應じて教授時數が規定してあることは誰も承知する所でありませう。所が幼稚園令施行規則には何等保育時數に關して一定の標準としての規定がないのであります。

幼稚園は小學校等の如く種々の學科を教授する所ではないことは誰もよく知る所でありませう。また幼稚園には保總項目として遊戯、唱歌、觀察、談話、手技等がありますが、是等は幼稚園に於ける幼兒

の生活内容を指示するだけで、何時間教授せねばならぬといふべき性質のものではありません。幼稚園に於て幼児が遊んでゐる間に幼児の身體精神を發達せしめることが幼稚園保育の目的で、保育項目は幼児の遊び、幼児の生活内容となる主要なる事項を示すもので小學校の教科と同様なものでありません。小學校の教育は各教科の教授によつてその目的を達するものであるから、それ／＼教授時數を規定する必要もありませんが、幼稚園には保育項目から保育時數を規定する必要は全然ないのであります。幼稚園の保育時數を定めて後、各保育項目等の時數を配當することが順序であります。そして幼稚園保育時數は保育項目の負擔上何程と定むべきものでありませんが、保育時數が多いから幼児には負擔過重であるといふが如き性質ではないのであります。幼稚園に於て保育する時數が長いから幼児に負擔過重になるといふが如きは、幼稚園の目的に合致しないものであるといはねばなりません。只幼児の生活全體からいつて保育時數が如何でよいか。家庭に於ける生活時間に對して幼稚園に於て生活する時間即ち保育時數の割合がどれ位がよろしきかの問題から定まるものであるかと思はれます。しかし學術上から「保育時數はこれだけが良い」とか、「これ以上では多すぎる」とかいふで如き一定の法則を見出すことが出来ないのであります。従つて幼稚園保育時數はいろ／＼の條件を考へてかく定むるといふやうに、各幼稚園の事情によつて定めるを可となす精神から、幼稚園令では何等保育時數に關し規定を設けないのであります。しかし幼稚園令施行規則第二十三條に次の如きことを規定してあります。

第二十三條園則中ニ規定スヘキ事項左ノ如シ

一、幼兒ノ定員及入園年齢ニ關スル事項

二、入園及退園ニ關スル事項

三、保育課程

四、保育期ノ區分、保育日數、毎週保育時數、始業終業ノ時刻等ニ關スル事項

五、保育料、入園料等ニ關スル事項

是等の事項を規定せる園則は幼稚園を設置せんとするとき地方長官に申請することになつてゐるのであります。

尙ほ「文部省訓令第九號幼稚園令及幼稚園令施行規則制定の要旨並に施行上の注意事項」中に次の如き事項があります。

「幼稚園の設置は固より之を任意とし、市町村、市町村學校組合、町村學校組合又は私人をして必要に應じて之を設置するを得しむと雖も、父母共に勞働に従事し子女に對して家庭教育を行ふこと困難なる者の多數居住せる地域に在りては、幼稚園の必要殊に痛切なるものあり、今後幼稚園は此の如き方面に普及發達せしむることを期せざるべからず。隨つて其の保育の時間の如きは早朝より夕刻に及ぶも亦可なりと認む」とあります。即ち幼稚園令に於て幼稚園として認むるものは、所謂託兒所式の幼稚園をも含み

居るものであります。そしてかゝる幼稚園では保育時間が早朝より夕刻に及ぶも亦可なりと認めてゐるのであります。早朝より夕刻に及ぶといふが如き場合も保育時数は一日八九時間、長くとも十時間を出ないのであります。かくの如き事情でありますから幼稚園保育時間は世界各國を通じて著しい開があります。どんなに保育時間が短くとも、一日三時間以下の幼稚園は先づ世界各國ありません。ニューヨーク市にあるエロンピヤ大學の附屬幼稚園は保育時数が最も短いものでありませうか、でも一日三時間。米國には一日三時間保育の幼稚園が多く、先づ三時間の保育時間が幼稚園の標準となつてゐるといつてもよい位であります。英國の幼稚學校は比較的時数が多く、午前午後にわたつて四時間から五時間でありまします。保育學校は小學校の始業前三十分位早く始まり、小學校の終業後三十分位後れて終はることを標準にしてゐますから、一日の保育時間は午前に三時半、午後四時半位即ち八時間が普通になつてゐます。それは幼児を小學校に通ふ兄弟が伴ふことを主要な條件となしてゐるからであります。獨逸などの幼稚園では一日三四時間の保育をなすものも少くないが、午前七時から午後四時すぎまで、即ち母親が工場に通ふ途中に幼児を幼稚園に伴ふことを條件として保育時数を定めてゐる所も少くありません。我が國では従來幼稚園は小學校低學年の如く保育時数が少いのが普通で、保育時数の長い幼稚園は殆どなく、保育時数の長いのは託兒所で幼稚園ではないとせられてゐたのであります。託兒所は長時間幼児を預るがそれは保育時間ではなく、託兒時間であるとす傾があつたのであります。し如し幼稚園令の精神は託兒

の必要を認ざる幼稚園の多きことを許容し、従つて保育時間の長さ幼稚園を認めてゐるのであります。

二、保育日數と時數

東京女子高等師範學校附屬幼稚園は明治九年の創立でありますから、今年で創立五十五年に相當するのであります。その規則には左の如く保育日數、保育時數等を規定してあります。

第一條 東京女子高等師範學校附屬幼稚園ハ幼兒保育ノ方法ノ研究ニ資シ本校生徒ヲシテ幼兒保育ノ方法ヲ練習セシムル所トス

第二條 附屬幼稚園ヲ分チテ等一部第二部トス

第三條 第一部ハ同年齡ノ幼兒ノミヲ以テ組ヲ編制シ、第二部ハ年齡ノ異ル幼兒ヲ相混シテ組ヲ編制ス

第四條 附屬幼稚園ノ保育項目ハ遊戲、唱歌、觀察、談話、手技等トス

第五條 幼兒ノ年齡ハ第一部ニ在リテハ滿四歳ヨリ小學校ニ就學スルマデトシ。第二部ニ在リテハ滿三歳ヨリ小學校ニ就學スルマデトス

第六條 幼兒ノ定員ハ第一部凡百二十名第二部凡九十名トス。

第七條 一箇年ヲ分チテ三期トス

第一期 四月一日ヨリ八月三十一日ニ至ル

第二期 九月一日ヨリ十二月三十一日ニ至ル

第三期 翌年一月一日ヨリ三月三十一日ニ至ル

第八條 保育時數ハ第一部ハ每週二十五時間トシ第二部ハ每週二十八時トス。但夏季休業前後各三週以内ハ第一部ニ在リテハ十八時マデ、第二部ニ在リテハ二十一時マデ減ズルコトアルベシ

第九條 休業日ハ左ノ如シ

祝日、大祭日及日曜日

春季休業 四月一日ヨリ同七日ニ至ル

皇后陛下御誕辰 三月六日

皇太后陛下御誕辰 六月二十五日

夏季休業 七月十一日ヨリ九月十日ニ至ル

開校記念日 十一月二十九日

冬季休業 十二月二十五日ヨリ一月七日ニ至ル

第十條 入園ノ期ハ毎年四月トス但欠員アルトキハ臨時入園ヲ許スコトアルベシ

(以下省略)

東京女子高等師範學校附屬幼稚園規則第一條は他の幼稚園の如く、純然たる幼児保育のみを以て目的

となすものでないことを規定してゐるのであります。附屬幼稚園としては幼兒の保育を唯一の目的となすのみではなく(一)幼兒保育の方法を研究することが明白に一つの目的となつてゐるのであります。また(二)東京女子高等師範學校生徒(この中には女子高等師範學校本科の生徒のみならず、女子高等師範學校保育實習科の生徒を含むことは勿論であります)が幼兒保育の方法を練習する所であります。従つて東京女子高等師範學校附屬幼稚園は三つの大目的をもつてゐるために保育時間等にもいろいろ特殊な點を生ずるものであります。

更に第二條に於ては附屬幼稚園を分ちて第一部第二部となすことを規定してあります。この第一部と第二部とが同一の幼稚園にある理由を説明するには勢ひ附屬幼稚園の歴史に溯らねばならぬのであります。第一部は明治九年文部省が官立の幼稚園を獨立的に女子師範學校と併置したのであります。我が國幼稚園として最も古く出來た幼稚園であり、我が國幼稚園保育の模範として設立せられたことは創立開園の當時 皇太后陛下並に 皇后陛下が行啓になり、令旨を賜つてゐるのでも明白であります。かくて創立以來いろいろ變遷はしてゐますが、大體に於てその時代々の上流家庭の子女を保育すると共に幼兒保育の研究をなし、併せて保育の方法練習の幼稚園として我が國幼稚園の模範となり幼稚園保育の進歩發展に貢獻して現時に至つてゐるもので、これが東京女子高等師範學校附屬幼稚園第一部であります。所が明治二十五年になつて幼稚園保育の範圍を擴め、附屬幼稚園内に新に幼稚園分室を設けたものであ

ります。當時幼稚園分室を設置する理由として家庭教育を十分施すことの出来ない生活程度の低い家庭の子女を收容して保育する幼稚園を設置せねばならぬといふことが擧げてあります、それでその幼稚園分室では本園が保育料五十錢なり、一圓なり徴收してゐたのを無料で保育することになしてあります。明治二十五年頃に保育料が五十錢でも今日の保育料に比べては著しく高率であつて、それを納付出来る家庭は多く上流社會であつたものでありませう。ところが幼稚園保育の必要な家庭は寧ろ保育料を納付することの出来ない場合が多いことを考量して分室に收容した幼児には保育料を徴收せず、保育時間も長くし保育年齢も滿三年より始めたものであります。この幼稚園本園がその後幼稚園第一部となり、分室が幼稚園第二部となり今日に及んで居ります。今日では附屬幼稚園に於て第二部創立當初の如き託兒所の精神をもつた保育を行ふことが出来ないのであります。第一に託兒するが如き家庭が現在の位置に於ては殆どありませんので、かゝる幼児を得ることが出来ないこと。第二には震災後同一假園舎内に於て生活程度の著しく異なる家庭の幼児を保育することが困難なること。その他いろ／＼の理由からして幼稚園規則には第一部第二部とありますが、實際は殆ど同様な取扱をなすやうになつてゐます。それで東京女子高等師範高等學校附屬幼稚園では保育時數が一週二十五時となつてゐます。季節によつて保育を始める時刻並に終る時刻を變化いたしてゐますが、八時半始めのときは午後一時が終りの時刻となり、九時始めのときは午後一時半終りとなり、九時半始めのときには午後二時終りといふやうに變化し

てゐます。最も土曜日は東京の諸學校の例に倣つて半日、従つて午前十一時又は十一時半終りとなつてゐます。尙ほ附屬幼稚園で兄弟姉で附屬小學校屬高等女學校に在學せるものがある場合には、兄弟姉妹相携へて登園したり退園したりするものがある爲めに、午前八時頃より登園してゐる幼児もありません。午時半又は三時頃まで在園してゐる幼児もあります。そして附屬幼稚園では幼児が登園すれば直に保育が開始せられたものとなしてゐますから、或る幼児には保育の始まる時刻が早く成の幼児はあそくまで保育せられてゐる實情であります。この問題について更に後に説明いたす機會がありませう。

尙ほ茲に説明すべきことは附屬幼稚園の規則中にある休業日のことであります。春季休業が四月一日より同七日に至る一週間ありますのは東京女子高等師範學校附屬校園通じて一致した規定になつてゐるからであります。従つて四月八日が第一期の保育が實際に始まる日であり入園が行はれる日であります。八日が日曜日に當る場合は勿論九日になるのであります。更に夏季休業が七月十一日より九月十日に至ることは、東京女子高等師範學校生徒が練習する幼稚園でありますから、本校と一致させてあるのであります。是等は附屬幼稚園が一箇獨立の幼稚園でないから起る保育日數の變化であります。従つて附屬幼稚園の休業日が必ずしも全國幼稚園の模範となるべきものでないものと考へねばなりません。



保育座談會

——談話について——

時 日 十二月十二日午後三時から

場 所 東京女子高等師範學校附屬幼稚園

出席者 寫眞右より

菊池保姆、及川保姆、坂口保姆、倉橋教授、白根保姆、堀主事、神原保姆、新庄保姆、徳久保姆

神原 今日は何育項目中の「談話」を話題に願ひます。

及川 私は「おはなし」を餘りしまへんから今日は皆さんの聞かせていただきたいのです。私は話し方がまづいし、特にこの話をこういふ風に話してみやうと工夫する時もないので時々にかいたしません。

倉橋 「はなし」は座談会の題目にはならぬのぢやないですか。私の方は斯んなにしてゐますといふぐらゐで論じることはないでせう。仕方を論じたつて結局仕様がなない。

神原 先達て先生が(倉橋)放送なすつた幼児に聞かせる話について、あんなものをうかがひ度うございます。

新庄 先生からいろ／＼うかゞひたいわね。いくらでも座談會になりますよ。皆さんお分りにならないことをこの時にあき／＼になればいゝわ。な

んていふと私に分つてゐるようだけど。

倉橋 さう來ると話が面白くなる。

及川 私だつて小さい組の時は下手ながらかなり澤山にお話をしましたけれども大きい組になつたこの頃では話によつて幼児が「それはこしらへたのでせう」といふ様な時もあつてその話の材料や話し方もよほど工夫しないと面白くないと思ひます。幼児の話はよほど好きで殊に私など時にしかいたしませんので喜びますが外の仕事をどうしても多くしてしまふ様でいけません。

神原 私の組でもこの頃では全體に聞かせる事が殆んどありません。みんなにあつた話のみつかりせまんから、五六人宛ではよく「話」を致しますけど。

新庄 私の所では揃つて聞きます。そして同じ話を幾度でも聞きたがります。

倉橋 はなしにはふだん話とあらたまつた話があり

ますね。あらたまつた話は凡べての保姆にうまく出来るか問題です。フダンの話の方はしてゐても、ちゃんとした抜巧を伴ふも話は誰でも話せるといふわけにはいけません。理想としては皆練習してうまくなるべきは勿論だけど。製作の場合ではうまい人だけやるといふわけにはいかないが「話」や「踊り」や「芝居」のやうな表現技術を要するものはうまい人があつたらその人に多くやつてもらふ、それで實際上の解決が出来る。

○
新庄 子供はとも話をせがみますの、ですけど毎日には致しません。話をし過ぎていけないことがありませうか。

及川 ほんとにうるさいぐらゐ「話して〜」と云ひますね。家庭などでもね。

倉橋 「話」が多すぎて問題が起るとすれば、話を

きいて空想的な子になるなどいふが、それよりも話をきいて許りゐるために子供の生活に受身の生活態度を加へて来る。受身の生活態度に慣れると發動的な生活態度が減る。大きい子供でもラデオ、チクオンキ、パテベロとあゝいふ種類の娛樂ばかり樂み過ぎると受身に樂しむ方の癖がついて、發動的な働さが減つてくる。話を聞きすぎる害があるとすればそれでせう。話をきくだけで架空的、想像的になり過ぎるといふのは、そりや病的傾向の子供でせうよ。

(この時堀主事授業終つて歸らる)

堀 構はず續けて下さい。

倉橋 昔は子供を受身に置く方のこと、即ち與へる事、話を聞かせることなどばかりが教育的のものとして考へられた。此の頃では教育そのものの考へ方も變つて來て、幼稚園でも發動的な生活を主とするので、「話」の分量も減つてゐます。

但しそれは「話」を軽く見てゐるではない。――他のことが多くなつたのだ。

堀 保育項目中の「談話」のはなしかね？ 談話即「話」ですか。

倉橋 それ自身まとまりのついてゐるものを子供に演出してやる「話」のことさ。

堀 所謂「おはなし」だ。此處では何れぐらゐやつてゐるの。

及川 いはゆる「話」としては私はいたしませんといふよりむしろ出来ないのですがこの幼稚園全體として皆さんはなさるでせう。

倉橋 製作と違つて「好きこそ物の上手なれ」の差別がつくね。

堀 僕は一體、先生が「話」を「話」としてやる場合は少くともよいと思ふ。製作は子供の作業だが「話」は先生がはなすもので先生の技巧に屬するものだからね。

新庄 幼稚園の子供に話するのは六つかしいわね。

堀 「話」の大家であつても幼稚園の「話手」としちやなかくだ。

及川 「おはなし」だけぢやない事ですが、その事に下手でも上手でもすべての保育をみんな一人の先生がやるといふ事は無論大切な事でありますが、お話などは上手な方があつて他の組の子どもにもきかせてほしいものだと思ひます。

堀 若し「話」をしなくちやならぬとすればね、小學校の先生が各科受持つてゐれば他に上手な人があつても仕方がない。小學校の唱歌の様に特定の先生一人に頼むがいゝか何うかを私は疑ふ。

新庄 子供は見慣れてゐる顔から聞きたいんだと思ひますわ。

倉橋 便利上、ふだんの話といふ話を「乙種の話」

あらたまつた方を「甲種の話」をしませう。乙種の話」は其の人から聞く愉快が大部分です。

トンチンカン・シリキレトンボ・話の効果が強く無からうがちつとも失望しない。しかし「甲種の話」は文化としてあるのだからそれは出来るだけちやんと與へる事が必要です。即ち、ふだんのラクな「話」の外に「甲種の話」が週に一度でも、月に一度でもプログラム中に按配しておかれなければならぬ。又「甲種の話」は出来るだけうまいがいゝからその園で一番うまい人がその任に當つてもよい。便法としてね。勿論理想としては皆が其の技倆を持つがいゝにきまつてゐるがね。

及川 時々にはして居りますが、時には話らしい話もきかせたいと思ひます。

倉橋 樂な話をする味を味つてゐる人は話を「話」としてしたくない。しりごみするわけぢやない

が人間交渉のない話をするのは面白くないのです。この味からは物足りぬかも知れぬが、甲種の話」は人類の持つ文化だからアンデルセンが作つてゐるものはアンデルセンが作つた様に演出すべきです。幼稚園で出来るだけのうまさだけで年に時々でも是非やるのですね。

及川 だから人形芝居などでも時々見せて下さいといふのです。

倉橋 假りに極端に、五人の先生の中四人は吃り、一人だけ聲が出るとしてね。(笑)「乙種の話」はその吃りでも其の組々の先生でなくちやいかぬ。吃りが聞きたいのです。がたまにはいゝ聲のを聞かせなくちや。御都合によつて二組合せでもよろしい。尤もそのたつた一人のいゝ話手も隣の幼稚園へ行けばヘッポコであつても仕様がなない。その幼稚園の中で一番うまいのですからね。

○

堀 更に、是非やらなくちやとすれば吃り許りぢや仕方がない、吃りを治す。其處で話す材料や回数考へる必要がある。

倉橋 標準はないが、この頃は昔に比べて少い。

及川 しない私でも小さい組の時には週に二度は話をしました。

堀 客觀的にきめられませんか。これ丈は話したといふものをきめられれば割り當てられる。

倉橋 一週に一度は多すぎますか。

新庄 多くありません。

倉橋 作業生活の多い場合にもそれで多すぎませんか。

か。

及川 小さい組ではそれで足りないぐらゐです。

新庄 一日おきに致しますわ。

菊池 入園當時は毎日でしたがこの頃は週に一度。

倉橋 それはよそ行の話ですか。

新庄 よそ行はいやですからフダンのとの間くらゐ。

倉橋 チョイ／＼着の話ですか。

徳久 私週に二、三度。

神原 組全體としてはこの頃は週に一度したりしなかつたりです。

白根 一週に一度ですわ。

堀 實習科生に練習させとく必要があるね。新しいのを考へたら大變な事だらうね。

新庄 ツーツーシクなつたのですかスヂを覺えて行つて話するのは月に一度ぐらゐですわ。

倉橋 「フダン話」に出してしまつて、十八番だけ出すのは數がなくなりましたか。

堀 幼稚園でこれこれの話をしたいから小さい組の時にこれぐらゐ、大きい組になつたらこれ丈と考へたことはありませんか。

及川 「幼児に聞かせる話」と「幼児の楽しむ話」の二冊にある話は大概二年の間にはいたしてし

まひます。(日本幼稚園協會編の話の本のことです。)

新庄 するく〜と話が出て来なくつちや面白くありません。

倉橋 仕方、うまくするための要件だ。さうすると一週に一度では多いね。

堀 今日はこのまでと中途できる場合はあるの？
新庄 たいていありませんわ。子供がすぢを忘れたらちまふんですもの。

及川 小さい組では一度に三つづらぬします。

倉橋 論據が二つになるが、幼稚園生活としてのものはなしを尊重するのは一般的の事として別にし、話を主にして、幾つかの「標準話」を撰んで書いて各組に按配して新しい話の初演を隔週一度とか何とかさめる。知つてゐるものをみんな話すと特別に話をする時に材料を見つけるのに困るからプランとしてこの案を先にこさへる。

堀 其の意味でも、唱歌や遊戯は大體こしらへてあるでせう。

倉橋 話は小さい組から大きい組へプランがたえられるしたてられたいものだ。例へばアンデルゼンのある話は是非聞かせておきたい、青年教育にはシエークスビーヤも或は噴葉集をも是非與へたいといふように幼稚園でも幼児期に是非與へたいものを用意して置きたい。

堀 地方の幼稚園ぢやそのあとにとつて置くが多いだらうね。生活の必要に應じてやるのを談話と「おなじ」として行ふ話と區別がつかない場合が多いでせう。

倉橋 どの幼稚園でも昔はそればかりに力を入れてゐたのだが、此頃は其逆になつて「生活の話」を主にするために「甲の話」が忘れられてゐる事もありませう。甲の話の方だつて、何時の間にかやればいゝつていふ論も立つが、いくら

生活主義の僕でも一生成銘のあるよい話は特にあらたまつたお話としてしてやりたい。

新庄 だからたまには『話』としてやりませう。

倉橋 一回に話し切れぬのは、一週日離れてしまつては忘れてしまふから年長組では毎日その週間つゞけるのも面白いでしょう。話」は圖畫や製作とその點で相違がありますね。

堀 僕は子どもの時、話といふ話を聞いた事がなくて今日に至つてゐるから没趣味で自分ながらつまらない。花咲爺やカチ／＼山でもまとまつて聞いてゐないから續けて知らなかつた。話の數は少くても、昔話とか民俗話は子供の時に聞いておく方がいい。

倉橋 極端に云へば「話」には、生活の機會を捕へて教育するといふ保育原則以外の原則を持つて居る。人類がいゝ話を作つて置いて呉れなければいゝが、それがあるのだ。名所が

なければ家で遊ばせるだけで、旅行はさせないが、名所があるから子供の時から見せて歩くのです。話を聞く事によつて生活を高め、深め、教養効果を與へてやる爲には「生活さながら」主義の自家でも特に一定の案を立てゝしなくちやならぬ。

堀 よそぢや子供を教室に入れてあるので時間つぶしの爲に豫定順序がなくちやならぬ。近頃幸に子供向きの話を目的にしての出版が多いから適當なの、俗惡に過ぎるのだのいろ／＼研究に面白い。それを發表することは一般幼稚園でもよし、家庭でもよし。

○
倉橋 それから種類の問題になるが西洋ものばかりでなく。

堀 日本物を調べて適當なのが無けりやムリにやらなくてよいが。今の所は、日本へ外國物がガ

ラタタに入つてゐるので調べるのは面倒だね。

倉橋 まづ實際問題としては最善のもの許りはなか／＼の事だから次善でもよいとして、それなら多少は見つかるでせう。作りかへればあります。

堀 「それだけは」といふ標準はなか／＼むづかしい。

倉橋 あの「幼児に聞かせる話」たのしませる話」の二冊にしても何れかといへばいはゆるたのしむ話で其處にエンフアサイズが入つてゐる。それと一寸違つた心持でゆくのもあつていゝ。

新庄 さう思ふとなか／＼出来ませぬね。

倉橋 「たのしむ話」の方に「ロビンソンクルソー」がありましたね。

及川 あれのもう少しむづかしいものですね。

倉橋 あれは「乙種」です。甲種の方は主旨を持つた「話」としてだから、その意味を十分に發揮する話し方も研究したくなるのですね。いろいろ

ろと。

新庄 これは堀先生はお上手そうですね。

堀 出来ない、さういふ教育を受けてゐないから。

倉橋 これが所謂幼稚園の積極効果ですね。フダンは子供の心理的要求に合すればよろしい。甲種の話は容易にその場で變更出来ない。その話を語る時間迄きめられる程のもんです。更に内容の問題になります、その中に何とかの方法で詩を取り入れたいものと思ひます。

新庄 普通 詩ですか。

倉橋 むづかしいですが、和歌の中にも幼児の氣持に分るものがあると思ふのです。道歌ではありませんよ。子供の春の日の氣持は子ども自身も唱ふが詩人はその氣持を高めます。

新庄 私、いゝと思ふ詩のようなものを一語に云つたりして居ります。口にして調子のよろしいよ
うなものですよ。

○

倉橋 完全な詩はむづかしいけれどその一部分の句などをね。——こゝで一寸附け加へて云つてお

きますが、それを教育の目的で撰んで來た時に、幼兒生活さながらを本態としてゐるのですから一度話して直ぐ効果が出るのとは違ふことを明らかにして置かなくちや。修身はさうぢやない。教養の目的なんだから。分らなくちやならぬとなればそれは違ふ。私の云ふ危険は其處にある。これが積極的目的だとなるとこれを徹底させようとしがちですからね。けれど徹底させること、徹底的に反應を得ようとするのは、その積りでかゝることはいゝが、強ゐてはならぬ。

堀 むづかしいぞ、其んな零蘭氣の中に置いて温醸する。

倉橋 香りを出さなくちやね。温室から出て來た人を香いで見てあゝ匂つてゐるといふのぢやない。話が濟んで感動して泣くようぢや困るけど。及川 今にそんな話を聞かせてやりませう。

堀 そんな話を僅かでも下手ながらに繰り返す。

倉橋 下手 がらといふ事はいゝ言葉です。「話」を聞かせるんですから。

堀 ビーターバンなどそんなものだらう。西洋では毎年々々この芝居をやるし幼稚園や小學校でさらされてゐる。

倉橋 わざとらしく定めて文部省後援の下にそれを幼稚園必須のものとするべきではないが、我國は今餘りに動搖過渡期です。昔はカチ／＼山を祖母さんから聞いてた。今はあれでないものであれの位置を占めなくちや。シンデレラ、ビーターバンが英人をつくるつていふ位だからね。我國の子どもの爲にも、そういふものが欲しい。堀 今日出來てゐる話が多いのだからその中からセレクトして見ようぢやないか。

倉橋 先日のコドモのイロハカルタの逆に大文豪のものをごし／＼撰んでゆかう。急いでといふわけには行きますまいが。

一同 えゝぼん當にこしらへませう。

立體紙摺について

静岡櫻花幼稚園保母 林 叔 子

淺學な私が、此の幼兒の教育の尊い紙上で、筆をとめさせていただきますことは、あまりにおこがましう存じますが、本年十月二日、伊勢大社御遷宮式の當日、賀陽宮御殿に、立體紙摺でまゝごと遊びの道具の一部を献上の光榮に俗し、同十月十五日、同宮家附宮内事務官梶田文太郎殿から、献上品の披露に及んだといふ御沙汰をいたゞき、感激に堪えないので御座います。これは昨年六月日本幼稚園協會の總會の時、堀先生から何か發表せよとの仰せに、少しばかり發表させていたゞきましたのでしたが、その時女子學習院の附屬幼稚園の宇佐美先生の御耳にとまりましたのが動機と

なり、同昨冬十二月下旬やはり女子學習院の附屬幼稚園の望月系子先生が名古屋へ御祝察の御歸途態々私の園に御來園下さいまして私の考案の一部をとの御言葉、折角の御來駕に私はその時病床に居りましたが、失禮をもちかへりみず同先生に御目もじ申上げ、あつかましくも御つたへ申上げましたのでした。その後いろく望月系子先生から御厚情賜はりました。今度の光榮に俗しましたのも同先生の御配慮に預りましたことゝ心から感謝して居ります。考案に着手した第一年大正七年から本年に至る拾貳年間、御力添へ下さいました倉橋先生に對しましても亦深謝いたして居ります次

第で御座います。私の考案といたしましては、籠類、花瓶類、菓子器、手提袋類、箱類、鞆類、茶器類、鉢類、其他自動車、乳母車、トロッコ、等七拾余種にわたつて居ります。これらの立體紙摺によりまして、子どもの遊びの世界に、子どもと先生との接觸の間に、そこに要求せらるゝものが、個人製作により又共同製作により、満足されて行きます。そして立派にしかも容易に子どもの非現實生活に、創造生活に、満足を與へる事が出来ることを信じます。大さも材料も、その時、そこに欲求せらるゝものに自由に作られます。尙此の立體紙摺に從來の紙摺も、貼紙も、切紙も、組紙も、畫方もその他の手技をあつかつて行く事が出来、これによつて一層趣の深いよい製作となります。今回はこの立體紙摺についての理論や細かいその應用方面は一切御遠慮いたしました、ただそのうちの二つを左に圖解して御紹介申し上げます。

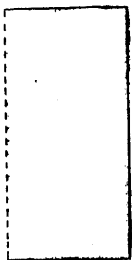
(摺み方圖は次頁に)

昭和四年十一月の文部時報に發表された全國學事統計概覽によれば幼稚園は

	官立	公立	私立	計
園數	二	四〇一	七七九	一、一八二
保姆	一三	一、三五四	二、二三一	三、五九八
幼兒	男二一七 女一七八	二四、九六九 二三、三二九	二五、九〇八 二四、七七三	五一、〇九四 四八、二八〇
その教育費は				
市費	八一九、三九二			
町村費	四九九、〇六三			
計	一、三一六、一七一			

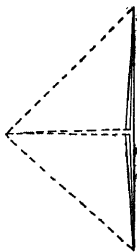
果物籠ノタ、ミ方

「黒色」ノ處ハ裏ヲ示ス。
 點線ハ折目又ハ袋ニツテ居ル處ヲ示シタメ也。



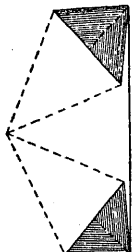
方長リ折テ分ニテ形方正
 ルヌト形

圖 2



△ニ中央チ方ノナクソノ圖 1
 バレス方兩リ折ニ角三テケ
 ルチケケ如ノ圖 2

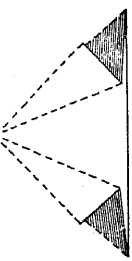
圖 3



折今バラタリナク知ノ圖 2
 手ニ中ノワノ上ノ角
 サカニ平シラカラテ入チ
 ルチケケ如ノ圖 3トル

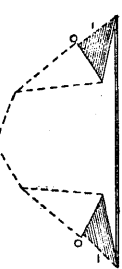
圖 1

圖 4



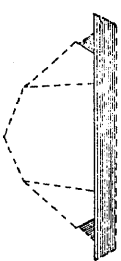
右左バラタツナニ様ノ圖 3
 向チ半分タイラヒ今モト
 ルチト圖 4ヌヘカリ折ニ側

圖 5



ノ所ノ角ニルキテ出ノ裏今
 スニ下シウモト右左チ方一
 バレスニ様同モ側ノ向スラ
 ルチケケ如ノ圖 5

圖 6



ノ三ル居テ出ノ裏ノ圖 5
 ニ様チ處ノ印「×」ノ右左
 ルチケケ如ノ圖 6ル折チ細

圖 7



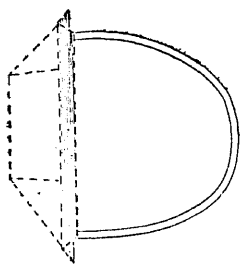
圖 5バラタレ折チ上部ニ様ノ圖 6
 へル居テレ折チへ處ノ印「○」ノ
 ルチニ様ノ圖 7バレ折處一ウモ、

圖 8



カ印「×」ノ圖 7バラタツナニ様ノ圖 7
 。ルチケツチリ折ニ様印「×」ヲ
 ロヒシ但。ルチト底部分部ノ
 チ處ヌツ折チシト分部ノ底今ハ時ルゲ
 底バラタラヌロヒ。ルチケツチリノ角
 折リカツツシハリハ。ルチケツチリ
 圖 9トルケツチチニレコ。ルチケツチリ
 へル上來出ガ能物集ニ様ノ

9 圖



子どもの歌よみ

金子彦二郎

むかし、ある田舎に大そう利口な子供がありました。
た。

やつと「いろはにほへとちりぬるを……」など
といふ平假名を書きおぼえたころから、日頃歌と
いふものを作つてはたのしんでゐるお父さんの見
やう見まねで、たゞことばを三十一だけ並べさへ
すればうたといふものになると心得て、何でも思
ひついたことや見たこと聞いたことを三十一文字
に並べてよろこんでゐました。

そのなかには、まだ言葉にみがかがかけつてゐ
ませんが、どうやら歌らしい形になりかかつてゐ
るものもありました。

あれとこの田に蛙めが集りて

日がな一日がや〜と鳴く。

といふのや

誰やらがゆるするやらしてはら〜と

こやしのどぶに櫻ちるなり

といふものなどがありました。それを。歌の道に
明るい人を見て「七つ八つの子供にしては大出来
だ、うまい〜。」といつてほめて、半紙一帖を景
物として與へましたので、その子供はもう鬼の首
でもとつたやうによろこんで、それからはずま
す熱心に、うたの方に心を入れるゐました。

この小歌人は、又「どこの七つ八つの子供たち

と同じやうに、相撲をとることが大好きでした。

ひまがあると、近所の子供たちと、前の草原で、足柄山の金太郎のやうに赤い顔をして、「ハッケョイヤ、ノコッタ〜」の行司の聲をうしろに聞きながら元氣よく相撲をとつてゐました。

ある日のこと、いつものやうに相撲をとつて打興じてゐましたが、どうした拍子か、足にすこし怪我をしました。お母さんが大層心配して、いやがる子供を無理に拘きかゝへて家へ連れ歸り、傷のところを繻帶をしてから、「おとなしく寝てゐるんですよ。」とたしなめて寝かせつけました。

ほんのかすり傷ぐらゐで、眞晝中寝てゐることなんかいやでいやでたまらない其の子供は、でも暫くは蒲團の襟から頸を出して、神妙に天井の節穴なんかを數へてゐましたが、庭前の梅の木へ、蟬が一羽飛んで来て、「ミ〜〜〜〜」とやり出すと、もう逆もじつとしてはゐられませんでしたし

た。

丁度お母さんは御用でお臺所の方へいつて、誰もやかましくいふものがゐないのをよい機會と、そろりとお蒲團の中からぬけ出して、「どれあの蟬をとらまへて……」と庭下駄をつゝかけて出ようとする時、あひにくお母さんが歸つて來ました。「これ〜坊や、何です。今から動き出してはいけません。ほらお父さんが……」

といふなり、折角今梅の木の枝の蟬のゐどころを見つけたところを、又抱きかゝへて引戻されてしまひました。

仕方なく、またお蒲團の穴へもぐり込んだ子供は、退屈しのぎに硯箱と紙とを枕もとに取りよせて、「へへののもへじ」や「へよまむし入道」やでん〜むしなんかを書いて慰さんでゐました。

あくる朝、お母さんが、いろ〜と書き散らしてある樂書の反故の始末をするとき、ふと見ると

新刊紹介

新作童話 打たずに鳴る太鼓

東京女子高等師範學校教師 金子彦二郎著

本書は東京女子高等師範學校教授でつた金子彦二郎氏が屢々本誌に寄稿せられた童話を中心として新作のもの二十有一篇。更に附録として「児童を喜ばせるお話の仕方」を加へて三百七十五頁。定価僅に一圓三十錢。東京昭々閣書房の處で出版のものであります。著者がはしがきに述べてゐるところによれば、

子女の教養に熱心な世の父兄から「安心して讀ませられる讀物としてどんな本がよいか」といふ聲を聞かされる毎に、「どうも責任を以て『これ』と言つて御推薦出来るものは……といつても煮え切らない答をし續けて來た私も、我が子からお話や讀物を要求される年輩になつて他事ならず眞剣に考へねばならなくなつた。」

必要は知識の母であり發明工夫の母胎でもある。この眞剣な必要に迫られて忙しい業間に主として日本民族間に傳へられた材料を種として二十篇程の童話を作つて見た。とあります。著者金子氏は教育者であり、文學者であります。しかも子供の親としての必要から作られた童話であるから、面白く文學的趣味をゆたかに含んでゐることは勿論、教育的價値の最も豊富にして小學校低學年兒童にも容易に讀むことが出来る、平易なよい讀物であります。幼稚園に於て讀んで聽かせても家庭で話してきかせるも幼児が皆喜ぶよいお話ばかりであります。吾人はかゝる讀物が多く出版せられることを年來希望するものであります。更にかゝる良書が廣く愛讀せられて世のいかがはしきお伽噺や童話の讀物の跡をたつに至ることを熱望するものであります。

(醫峰生)

書きちらした畫の間に、みゝずののたくつたやうな字でかいたものが一枚あつたので、「何をかいたんだらう」と思つて、たどり／＼よんで見ますと

ととさまにしからるゝともとりたきは

といふ歌が一首かいてありました。

お母さんは「ホ、」と笑ひながら、「この子がまあ、ごらんなさい、こんな歌を書きまして……」と言ひながら、家中の人や隣近所の者にも見せますと、「いよう、これはく。よく並べましたな、成人したら、どんな歌よみの名人になりますことやら、頼もしいことぢや」とみんな口々に賞めはやしましたとぞ。

人形芝居

東京女子高等師範學校
附屬幼稚園 菊池 フジノ

段々寒くなつてまゐりますと、日頃、外で思ひのまゝに遊びまわつてゐる武者達まで室中に籠りますので、調子の悪い日等、お室の中のざわつき様つたらありません。こんな時人形芝居等をして見せますと大變よろこびます。

芝居は、子供達によく知られてる童話の一部、又は全部をする時が多うございます。どの場面を現すかとか、又は、このおはなしを幾幕にしようとかいふことは、その童話をよく味ひますと、自ら判断することで、何も申上げることもしません。併し、之がなか／＼私共には六ヶ敷うございますので、あんなに子供等がよろこぶから澤山

見せてやり度いとは始終心に思つて居るのでございますが、そうたやすく出来ないわけなのでございます。又家庭劇とか、兒童劇とか云つた様の本に依る事もございます。

こんな工合にして演出するものを決めまして、之に合せて、舞臺だのバックだの人形などを揃へるのでございます。

舞臺は簡單なもの、精巧なもの、いろ／＼ございませうが、極く簡單には、枠をこしらへて何かの上に乗せれば一つの舞臺になります。これでも結構だと思ひます。

それから人形にもいろ／＼ございます。お猿さ

んの様に毛皮様の厚地で出来た精巧なものもあれば、何かの空箱を利用した紙箱の人形もございませす。芝居によつてそれぞれ必要に應じた人形を使へばよろしいのでございませすが、最も經濟的で、どんなへきすうの地でも得られる箱人形、卵人形、布人形等について申上げませう。

口繪の顔ぶれの中の箱人形は、九重の空箱でこしらへたものでございませす、誠に不完全な、それで大變印象的で、容易く出来る人形でございませす。鼻を畫用紙で三角に貼りつけ、目、口等を描き入れ布の帽子をかぶらせたわけでございませす。何も九重の箱と限つただけではありませせん。相當した小箱があれば結構出來ませす。畫用紙でも出來ませす。

頸は丸い打抜ちぬいたところへ、畫用紙を巻いて筒にしてさし入れ、その下の方に着物縫ひつけたのでございませす。この頸のところはよほどしつ

かり出來なければ頭がぐらついで使ひにくうございませす。何かいゝ案はないものかと思ひませすがまだ名案も浮ばずこのまゝにして置いてございませす。着物は頸の所をえぐり、袖や胴は洋服のワンピースの様にしたまでで、ございませす。手は、つけなくてもよろしいし（この場合袋にして置く方可）つけなくてもそこから使ふ人の指を一寸出してもよろしいと思ひませす。着物の地質は、ラシャとかアストラカンとか云ふ厚地のものが使ひ易うございませすが、有り合せのキャラコでもネルでもメリンスでも絹でもよろしうございませす。色合は、舞臺の上に見るのですから、原色と云つた様な印象的なものがいゝと思ひませすが併しこれもそう大した吟味もいるまいと思ひませす。

それから卵人形、これは卵の一端に小さい穴をあけ、そこから中の白味黄味を出してしまひ、それに、一分位の幅に切つたガンビ紙を三、四重に

縦に貼つて目、鼻、口を描き入れたのでございます。

す。ガンビは薄くて丈夫でよろしうございますが、求める便の悪い所では半紙でも結構だと思ひます。内と外と両側から貼れば丈夫だそうでございますが、内側に貼るのは、なか／＼六ヶ敷うございいますので外側にだけ貼つて居ります。そのせいか一寸古くなりますと脆くて床へでも落せば破れてしまひます。それに近頃ねずみが出て食べましたので、先頃までは澤山あつたのですが、取り出して見たら、あんな貪弱なのがたつた一つ満足に残つて居ただけでございます。頭は箱人形の時の様に畫用紙の筒をつけずに、着物を直接頭へ縫ひつけました。卵はそう大きくございせんので、指で支へられますし、それに大變頸いので畫用紙の頸等つけたら、そのまわりが段々に崩れ落ちて忽ち駄目になつてしまふと思はれますのでつけなくて居るのでございます。着物は箱人形と同

じでございます。

布人形。あれは頭の前と後とを縫ひ合せ、中に堅く綿をつめ（頭を支へる指の、は入る餘地あらしむ）着物を縫ひつけたのでございます。髪の毛も眼、鼻、口も簡単な刺繡で出来て居ります。

それからあの殿様人形は臺灣の方からいたゞいたのでございます。臺灣では、頭だけ又は着物を着せたりして賣つて居るのだそうでございます。殿様みたいな顔をしたのやその他いろ／＼のがあるのだそうでございます。

ピノチヨは店頭のを求めたのでございました。

お猿さんは御承知のドイツ製のもの。

人間の人は、何とかこんな風にして拵へて居りますが、童話をお芝居に致します場合、かなり屢々動物が欲しい時がございいます。猿、熊、犬等上等な舶來品がございいますが、一寸高價ですし、それに猿熊犬等の他、欲しいと思ふだけの動物が

出来ても居ない様でございます。何とかして出来ないものかしらと考へて居りましたところ、先日

フレイベル館で兎、猿、熊、犬等を拵へました、外國製のそれに比して廉價であるとは云へ、併しいつのお芝居にも不自由しない程の數と種類（まだ四五種位ですのぞ）とを揃へておくことは一寸六ヶ敷うございます。やはり布とか畫用紙とか厚紙などに欲しいと思ふ動物の特徴を現し、之を工夫して立體にし、着物をさせて使へる様にするのが一番私共として容易く出来る事だと思ひます。

若し立體にするのになか／＼骨が折れて困る時には畫用紙などにそれを切抜き、持つ所をつけて用ひても、つまりはよろしいと思ひます。

こんな風にして極く簡單に致して居ります芝居の中、花咲爺について次に徳久さん白根さんが書いて下さいました。花咲爺はおはなし全部を致さ

ずに、灰をまいて枯木に花を咲かせる場面だけを行いました。

花 咲 爺

徳 久 孝子
白 根 美 智 子

第一幕

場 面 田舎の街道

背 景 遠景に農家、樹等を描き、のんびり

とした田舎の街道の景色。舞臺に枯木を一本用意する

登場人物 善兵衛 なるべく優しい顔のお爺さん

ん 悪兵衛 少し怖い顔のお爺さん

殿様 及び 馬

家來

其の他 枯木、ボール紙を切り抜いて作つて

も又實物でもよい

花の咲いた木 前の枯木と同じ物に

花をつけて置く

笹

舞臺の幕が開くと笹を持つた善いお爺さんが
少ししよげながら出て来る。

善 「わしの大事な白犬も、隣の悪兵衛さんに殺されてしまつたし、又其のお墓に生えた木で作つたあの白も、焼かれてしまつて、今はとうとう此の灰だけになつてしまつた。あゝあゝ情無い事じゃなう。」

と少し悲しがつて居る。が、又元氣を出して、
善 「でも此の灰は、本當に不思議な灰ぢや。これのこぼれた所は、どの草も皆花が咲き初めた。今迄しほれて居た草は、急に生き／＼して來た。誠に誠に不思議な灰ぢやなう。あゝ、あそこに

あんな枯れ木がある。あれにも此の灰を撒いたら、花が咲くかも知れない。そうしたら皆の衆が、どんなにか驚く事じゃらうな。」

と言つて居ると、御殿様の御通りと見えて、遠くの方から、

家 「下におらう下におらう。」「下におらう下におらう。」

善兵衛さんはびつくりして、

善 「おや。殿様の御通りと見える。これは大變。御無禮の無い様に、此の邊に坐つてお迎へ致しませう。」

と急いで舞臺の隅の方に行つて坐る。そして急に思ひ付いたやうに、手を打つて喜びながら、

善 「あゝ、そうぢや。そうぢや。御殿様に此の灰で枯木に花を咲かせて御覽に入れたら、嘸かし御満足遊ばす事ぢやらう。うん。それがよい。それがよい。幸ひ未だ灰も残つて居る。あゝ、

もうあそこにお見えになつた。へエ、へエ、へエ、と平伏して居る。其の時殿様馬に乗り、家來が手綱を取つて静々と進んで来る。

家「下におらう。下におらう。これく皆御無禮あつてはならぬぞ。」

と言ひつゝ段々行き過ぎやうとする。爺はあわてて、

善「えゝあの一寸も願がござります。」

と家來の前に進み出て丁寧な御辭儀をする。

家「なに。願があるとな。一體そちは何者ぢや。」

善「私は此の村に居ります花咲爺と申す者で御座います。大層花を咲かせる事が上手で、どの様な枯木にも忽ちバツと花を咲かす事が出来まします。それで、一つ殿様の御目かけ度い存じまして、先程からこれに御待ち申上げて居りました。」

家「枯木に花を咲かすと、ハ、ハ、ハ、ハ、爺、そ

れは本當の事か。偽りを申してはならぬぞ。」

善「これはこれは恐れ入ります。此の爺は、生れながら、たゞの一度も嘘は申した事が御座いません。」

家「左様か。しからば暫らく此處に控へ居れ。余が今殿様に御伺ひ申上げるに依つて、御許しあらば、早速御覺に入れるがよからう。」

善「ハハッ 有難き仕合せに存じます。」

と言つて平伏して居る間に家來は殿様の前に出て、うや／＼しくお辭儀をして、

家「申し上げます。申し上げます。」

殿「何ぢや、何用ぢや。」

家「ハッ 唯今こゝに控へ居ります爺、名を花咲爺と申し、枯木に花を咲かせる事が、非常に上手との事でございます。それで是非御殿様の御覧に入れ度く、先刻から御通りを待ち申上げて居りました由、申して居りますが、如何取は

からひまするか。」

殿様はちうようにうなづきながら、

殿「なに。花咲爺が枯木に花を咲かすと申すか。

これは又面白い。苦しうない。早速咲かせて見よと申せ。」

家「ハハッ かしこまりました。」

又禮をして爺の所に來る。

家「これく爺、御殿様は早速御許し下されたに依つて、これなる枯木に花を咲かせて見よ。」

爺「早速に御聞届け下さいまして、誠に誠に有難う御座います。では咲かせて見ませう。」

と言ひつゝ立上り、

ちりん ぼりん

黄金さらさら フーッ

ちりん ぼりん

こがねさらさら フーッ

と持つた笊から灰を撒く。此の間に手早く枯木と、

花の咲いた木とを取換へる。殿様はいと満足氣に

殿「あゝ、見事見事、天晴れな奴ぢや。御蔭で思ひがけない花見が出來た。これく此の爺に澤

山の寶美を取らせよ。あゝ、見事見事。」
と花に見とれてゐる。

殿「ハハッ」

と爺の所に行き、

家「これく爺、御殿様は大層御満足で、お前に澤山御寶美を下さるそうぢやから、わしについで來なさい。」

爺「ありがたうございます、有難うございます。」
とにこにこおじぎをしながらいつて行く。

——幕——

第二幕

場面背景は一幕の時に同じ。

今の花の咲いた木の側へもう一本枯

木を立てて置く

片方から善兵衛、片方から悪兵衛が出て来る。

悪「善兵衛どん 善兵衛どん 何だか馬鹿に嬉し相な顔をして、何かいゝ事でも有りましたか。」

善「ちや／＼誰かと思つたら、悪兵衛さんですかえ。まあ／＼聞いて下され。こんな目出度い事があるのですぞえ。わしがな昨日お前様の所から頂いた竈の灰は、あれは本當に本思議な灰であれのかゝつた物は、みんな奇麗に花が咲くのぢや。それで、さつき御殿様が御通りの時、枯木に花を咲かせてお目にかけてたら、殊の外のお喜びで、山のように御寶美を下されたのぢや。こんな嬉しい事は、生れて始めてですよ。」

悪「それは／＼よい事をしなされたな。して又、どの様にして其の灰を撒きなされたのぢやね。」

善「何。何でもない事なのですよ。たゞ、

ちりんぼりん 黄金さらさら ブーッ

ちりんぼりん 黄金さらさら ブーッ

とかう撒いただけですよ。

悪「あゝ、そうですか。そんなに易い事なのかえ。どれ、わしも一つやつて見ませう。」

ちりんぼりん 黄金さらさら ブーッ

これでいゝのですか。」

善「あゝ、そうです。そうです。そう言ひながら灰を撒くと、奇麗に花が咲きますのぢや。では早く歸つて、婆さんを喜ばせてやりませう。晩に又ゆつくりお茶でも飲みにいraftしやれ。はい左様なら。」

と急いで行つてしまふ。悪兵衛其の後姿を見送りながら、

悪「善兵衛は竈の灰を枯木に撒いて、殿様から澤山に御寶美を戴いたさうな。何の何のそんな事ならわしにだつて出来るサどれ／＼無くならぬ

間に灰を掻き集めて置いて、殿様の御歸りの時
今一度花を咲かせて、わしもたんまり御寶美を
いたゞくことにしようかな。うんそうぢや、そ
うぢや。」

と獨り合點しながら灰を取りに行く。直に灰のは
入つた箆を持つて出て来る。

悪「幸ひ未だこれだけ灰が残つて居た。もうそろ
／＼御殿様の御歸りの頃だ。こゝいらでお待ち
申上げよう。」

と其の時、

家「下に／＼ 下に／＼。」

と殿様の行列が出て来る。悪兵衛は慌てゝ前に進
み出て、

悪「えゝ申し上げます。申上げます。私は先程の
花咲爺で御座いますが、今一度花を咲かせて御
覽に入れ度く、お歸りをお待ち申上げて居りま
した。」

家「先刻の花咲爺か。では暫らく此處に控え居れ
と言つて殿様の前に出て禮をしながら、

家「申し上げます。申し上げます。」

殿「何ぢや。」

家「先刻枯木に花を咲かせました花咲爺が、今一
度花を咲かせて御覽に入れ度いと申して居りま
す。いかゞ取はからひまするか。」

殿「先刻の爺とな、よい／＼、今一度あの様に見
事に咲かせて見よ。」

悪「ハハッ あり難き仕合せに存じます。では早
速。」

ちりんぼりん 黄金さらさら フーッ

ちりんぼりん 黄金さらさら フーッ

なか／＼花が咲かないので悪兵衛少しあわてて、

悪「おや／＼一向に花が咲かない。これはどうし
た事かな。まだ撒き様が足りないのかも知れぬ。
今一度。」

と又撒かうとすると、

殿「こらどうした。少しも花が咲かぬではないか。

早くせい。

ちりんぼりん 黄金さらさら フーッ

ちりんぼりん 黄金さらさら フーッ

悪「おや〜 まだ咲かぬ。こんな筈はないが。」

とすつかりあわてて、泣き相になりながら、又ま
かうとすると、

殿「あいたた。あいたた。」

と急に目をおさへるので、家來は驚いて、

家「これは〜御殿様 如何遊ばしました。」

殿「こらッ 早くあの爺を捕へよ。少しも花が咲
かぬばかりか余の眼に灰が入つて、痛くて堪

らぬ。きつと偽者にちがひない。早く召し取れ

ッ。」

家「ハハッ」

と急いで悪兵衛の所に來る。其の間中、悪兵衛は

夢中になつて何遍も何遍も ちりんぼりんを繰返
して居る。

家「こら〜どうした。ちつとも花が咲かないで
はないか。お前は偽者に異ひあるまい。さあ來

ッ。」

と無理に引立て行かうとする。悪兵衛は驚いて、

悪「いゝえ〜 決して偽者では御座いませぬ。

あゝどうして花が咲かないのかなあ。情無いな。

どうぞ今一度撒かして下さいませ。」

とベッコ〜おじぎをする。

家「ならぬ〜。花が咲かぬばかりか 御殿様の

御目に灰を入れた不屈者奴さあ来いさあ来い。」

とドン〜引立てて行く。

悪「どうぞ御かんべん下さい。どうぞ御許し下さ

ッ。もう悪い事は致しません。」

と言ひながら家來に連れられて行く。

紙を主としての製作

附商 遊

大阪市立精華幼稚園

◎誕生會の贈物から見出された

紙の製作について

一、動機

當園では、昨年四月から誕生會を催し、幼兒の贈物として紙を主にしての製作物を作つて來た。作品其物は、早速幼兒の生活に満足と與へる玩具となつて現はれるから、非常な興味を持つて取扱ひ、使ひ方迄も工夫をこらして喜んで作る様な有様で、過程を喜び且つ結果をも楽しんで活動する状態は、とても拙き筆に表す事の出來ない程、從來

の製作に比し價值ある事を認め、此の實現によつて指導者にとつても一層心強く感じた。淺薄な研究ではあるが發表して御批正を賜りたいのである。

二、撰 擇

- イ、自由製作中から適當と認められたもの。
- ロ、廢物を利用して、指導者と共に考案せるもの。
- ハ、家庭で、幼兒の好んで求める玩具等の中から。
- ニ、多くの幼兒が、興味を持つて遊べるもの。

中から。

ホ、玩具店などで観察した中で、簡単で活動なものから。

三、製作材料

イ、紙類 織紙の廢物、組紙、廣告紙の殘物、

外に摺紙、色畫用紙、紙テープ等

ロ、紐類 毛糸、木綿糸、赤白の撚糸、細麻

糸等

ハ、雜 竹籤、細竹、葎、粘土、黍殼、麥

稗、針金、鳩目、ゴムバンド等

ニ、用具 鋏、糊、手工板、クレオン等

ホ、情操を養ふ。
 ヘ、色彩の調和と美感とを養ふ。
 ト、物品を大切に取扱ふ習慣の養成

誕生會の贈物から見出された紙製作一覽表

月	組別	品目	材料	方法	保育中の所感
四、五月	保姆	軍配團扇	畫用紙、組紙	保姆製作	幼兒の製作出來得る範圍のものを作つた。
	紫組	家	畫用紙	模倣(指導)	出來上れば砂箱の上に配置して遊ばうと、種々目的を以て喜んで製作にかゝり、容易に仕上げた。

四、指導方法
 目的決定しての自由製作、目的決定しての模倣製作。

五、保育上の價值

イ、心を込めての贈物を尊ぶ。

ロ、共同生活のためのしみ

ハ、没頭性によつて、性格の良習慣を作る。

ニ、工夫創作の力を養ふ。

七月						六月				
保姆	赤組	黄組	樺組	緑組	紫組	保姆	赤組	黄組	樺組	緑組
月星圓型袋	巾着	こま	コッブ	蝙蝠傘(開)	手籠	籠型手提袋	日の丸旗	かばん	箱	かぶと
打畫用紙、組紙	打摺紙、毛紙	豆、打紙、紙	打畫用紙	麥、紙、竹	毛畫用紙	打畫用紙	葎、紙	打摺紙	摺紙	打摺紙
紙	紙	紙	紙	紙	紙	紙	紙	紙	紙	紙
保姆製作	同	同	同	同	模倣(指導)	保姆製作	實物模倣	同	同	同
第一行に同じ。	容易に出来た。各兒腰にさげて喜んだ。紐附は保姆が手傳ふ。	豆のつかひ方が未だ充分慣れて居ない爲、大ぶん潰れたのがあつた。竹籤を通す窟用紙の穴は保姆が手傳ふ。	自分の持つて居る湯呑の格好と同じだと云ふて大喜び、終まで一生懸命であつた。模様は打摺紙を與へて隨意につげさせた。	竹籤を通す穴を、小さくあける事に注意。模様を貼る糊は、要所丈につけさせた。	毛糸を通す事が困難の兒が多かつた。中に入れる物を想像したりして、非常に喜んだ。	第一行に同じ。	祝祭日に門前に出した國旗の記憶を喚起して仕事にかゝつた。全兒容易に仕上ぐ。作品を以て旗行列を行ふ。	摺方は全兒たやすく出来たれど、切り方に於て四、五名間違へた者があつた。	製作容易、手は保姆がつける。	幼兒の半数はすでに會得して居た。大きく出来上つた物を被つて武者振る兒もあつた。皆々大満足で仕上げた。

八、九月

赤組	黄組	樺組	緑組	紫組	保姆	赤組	黄組	樺組	緑組	紫組
か	鯛	動	色	蜻	白	金	蝠	七	盆	團
			紙		兔		蝠	夕	提	
ご	釣	兎	み	蛉	袋	魚	傘(開)	網	灯	扇
組畫	針畫	畫	畫	畫	打畫	摺	摺	色	摺	色
	用金、紙、糸	用紙	紙、打拔型紙	紙、用紙	紙、用紙	紙、糸	紙、毛、糸	紙	紙、厚紙、紙	紙、打拔型紙
紙紙	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
				模倣(指導)	保姆製作		同(指導)	同(自由)		模倣(指導)

畫用紙の極薄手が適當。竹箨と紙との糊つけが困つた。然し乾いた後骨を切る時は非常に喜んだ。模様は隨意。最初製作品を見て幼児は「むっかかしな!」と言つた。然し容易に出来上り非常に喜んだ。上の口を貼る時ゆがまない様に注意した。

在右差し連へて剪る事かなか、困難であつた。やつと出来上つた時は大へん喜んだ。七夕の歌を歌つて振り歩いた。

紙の先を鉄でつむ所が大きすぎる心配がある。模様畫方がむつかしかつた。出来上りが擴らぬのが物足らぬ憾があつた。

頭と尾の切込み、並に釣糸を竿に附ける事は、保姆が手傳つた。

第一行に同じ。

背と胸を間違へて糸をつける者あり注意した。出来上つた物を振かざし室中を色々誦ひ乍ら野原の様に駆廻つた。表紙の意匠は各兒隨意。製作方法を會得して後、家に歸り大小種々持へて、自己の色紙を整理して居るのを見受けた。

仕事を二回にした。製作後動かして遊んだ。

塗方容易。前方に於て鱗を剪落した者があつた。左右二枚貼合す時困つたから其のわけを悟らせた。

製作品を見て、幼児は一齊に市場行きのかごと呼んだ。中の品物を連想して、家の買物の内容を發表した。

拾月

保姆 菊

花 袋

摺紙、畫用紙

保姆製作

第一行に同じ。

紫組 動

搖 犬

畫用紙

模倣(指導)

台と四肢との間の剪抜く箇所で困つてゐる児には、各切口を入れて手傳つた。馬ライオン虎等を工夫した。

綠組 勳

章

摺紙、打抜型紙

同

二雙船の折方を、充分練習した後着手、椽は保姆が剪る

樺組 小

箱

打畫用紙

同

玉手箱を追憶して製作す。

黃組 日

の丸風車

籖、白紙

同

豆の使用方に注意を要す。旗を反對側に貼付ける事を忘れる者がある。

赤組 椅

子

畫用紙

同

先月の籠と同剪方で、椅子の出来る事を工夫させた。然し少々困難の様子を見受け遂に指導した。それから玉手箱炭箱の工夫が出た。

拾一月

保姆 鳴

子 袋

打拔型紙

保姆製作

第一行に同じ。

紫組 風

船

打色拔型紙

模倣(自由)

最後の折込む箇所を、きれいにする様注意した。糊付をていねいにする程、使用中にくるひが来ない。

綠組 ハンド

バック

摺紙

模倣(指導)

以前カバンを作つたから折方は無難、然し剪方に於てやはり間違ひがあつた。女兒は非常に喜んだ。

樺組 桃太郎

目鱈

畫用紙

同

製作容易。保姆は目の打抜及鳩目附をなす。鬼が鳥征伐の意氣を以て大いに活動した。大猿雄鬼等の目鱈の製作を希望した。

黃組 紙

鐵 砲

打拔型紙

同

大部分の兒は、すでに家庭で折方を會得して居た。然し非常に喜んで製作した、後で戦争ごつこに使用した。

一月					十二月					
樺組	緑組	紫組	保姆	赤組	黄組	樺組	緑組	紫組	保姆	赤組
水	犬 の 家	養	四ツ切組込かご	正 ち や ん 目 鬘	あ ね さ ま 目 鬘	こ ま	カ レ ン ダ ー	越 後 凧	手 提 袋	人 形 座 ぶ と ん
色畫	色畫	打畫	組畫	同	細畫	摺畫	色畫	美濃紙、 葎、麻	打畫	紙
用紙	用紙	拔用 型紙	用紙	同	用紙、 ハトメ	紙、 黍殼	紙、 打拔型紙	紙、 毛糸	紙、 型紙	紙
同	同	模倣、 指導	保姆 製作	同	同	同	同	模倣、 指導	保姆 製作	同
頭部は保姆が作ったものを用ふ。尾をつける時に、三角形を間違へて貼る者あつた。注意を要す。	最初正方形の畫用紙に折目を入れ、それに切込を入れて製作す。次に作圖した用紙で、再製作した入口を貼る時困つた兒もあつた。	かどの折目を強くする様注意した。	第一行に同じ。	自由に塗らせたが、先づ眼、眉、リボン、帽子、の順に塗つた。要領よくなつた。鳩目附は保姆が手傳ふ。	鳩目付は、保姆が手傳ふ。	非常喜んで、一所懸命仕事に没頭した。保姆はたゞ穴をあけてやつた。	全仕事を二回に區切つた。表を重ねて、台紙に括り付ける仕事は保姆した。	全仕事を二回に區切つた。保姆は細糸を附ける丈を手傳ふ。幼兒は寒風をおかして、三日も屋上に昇り、凧上して喜んだ。	第一行に同じ。	一枚で満足せず、全兒二枚宛は容易に作った。早速、あね様ごつこに使用してよく遊んだ。

三月				二月						
緑組	紫組	保母	赤組	黄組	権組	緑組	紫組	保母	赤組	黄組
櫻	桃	ト	鬼	四角日の丸	組	お多福目	鶏のおもちや	年	飛行人	落
と	花	ラン	目	の丸	紙	目	ちや	越	形	下
橘	箱	ク	蠶	風	風車	蠶	袋	袋	傘	傘
摺紙、打拔型紙	摺紙、打拔型紙	打拔型紙	畫用紙	色紙、紙、籤	組紙	畫用紙、細紙	グロリー煙草空箱、厚紙、糸	ハ畫用紙	馬糞紙	薄紙、小石
同	同	保母製作	同	同	同	同	模倣(指導)	保母製作	同	同

全仕事を三回に區切つた。紙を剪るのに困つた兒があつた。つけた糸に、小石を括るのを保母手傳つた。

馬糞紙は極薄手がよい。

第一行に同じ。

最後の糸附は保母手傳ふ。出来上れば自分が使ふより、弟妹に與へようと考へて製作した。

極容易に仕上げた。之を遊ぶ中に面白い刺を仕組み、永らく遊んだ。

三筋組合す事が困難、半数の兒は個人指導をした。

仕上げを樂んで製作した。糸附は保母が手傳つた。

容易に出来た。

第一行に同じ。

塗方は非常に巧になつた。花びら及底の五片をねぢ込む事に大ぶん工夫した。

一本は保母指導し、二本目は練習の意味で、各自由で作らせた。仕事を二回に區切る。

備考

- 1、鋏、クレオン、手工板、糊は毎回準備す。
- 2、製作時間の永びく場合は、二回又は三回に區切る事がある。
- 3、組別年齢

樺組	内裏	様	摺畫	用	紙紙	同
黄組	か	ご	打畫	用紙、組	紙紙	同
赤組	屏	風	打畫	拔用型	紙紙	同
紫	綠	樺	組	(年長兒)		
黄		組	(年少兒合併)			
赤		組	(年少兒)			

顔面は保姆の作ったものを使用す。製作は極めて容易。
 四隅の接目に困つた兒があつた。
 案外たやすく出来たが興味は少かつた。然し贈られた兒は非常に喜んだ。

◎ 模倣遊戲具組立屋臺

人間生活の最も純真な所は、グループを作つて、出過ぎず又他を侵さずしかも心と心との相互作用に依つて、一人では出せぬ新しき力とも云ふべき

ものを産み出す事である。幼兒が五六人集つて、畫き方粘土細工商ひ遊び等をなす時、一兒が他兒の活動を見て、真似るでもなくして、それそり受ける影響感化で本然の具體生活を現す事が出来

る。此方は、保姆が模範を示して導かんとする事にくらべて、其質及強さに於て、餘程の相違がある。

(一) 動機

當園幼児は、自由遊戯の際、製作品或は玩具等を排べて盛に商ひ遊をする、殊に誓文拂後の遊び

(二) 用具

寸法	數量	材料	價格
床板 長巾 一三〇〇 長角 一二〇〇	二枚	米杉	
隅方立 長角 四八	四本	同	
臺輪 四角 角長五三 三角 角長一〇四	二本	同	
土臺 四角 角長五三 三角 角長一〇四	二本	同	
柱 同 角長一〇四 同 角長一〇四	二本	同	
腕木 三角 角長一二〇 五角 角長一二〇	二本	同	
天幕	一張	白木綿	

は眞劍である。自分の机を利用し、時には古机を適當な所に持ち出して、屋臺店を作り、得意になつて遊んで居る。此の遊びからヒントを得て、幼兒の手にてなし得る、簡単な組立屋臺店を考案した。

裝飾用赤布

一三一
六
張枚本枚

赤ナフト
ルモス

約六圓

五六

但し幼兒が組立に要する時間、約二〇分(初めて組立てた時間)

(三) 商ひ遊びの實況

賣手 約五人(金錢出納係敗賣係、外交係等各

自に定む)

買手 多數

お金 打抜の五錢白銅、一錢銅貨、並におはぢ

き貝等を用ふ。

(四) 指導上の注意

指導者は、賣手買手の間に立ち、干渉なくして

相互生活を可能ならしむる事は、幼兒教育者として

特に注意を要する事で、即ち幼兒をして私の遊

びに共鳴して呉れるいは、此の先生だと感ぜしむ

る事が、出来る様に努力して居る。

(五) 保育上の價值

イ、共同作業の一資材

ロ、物品を、整理する良習慣を養ふ。

ハ、遊びの中に、數の觀念を養ふ。

ニ、適當な言語の練習

ホ、公德心の養成。

ヘ、幼兒の生活内容を容易に直觀し得。

ト、お互の交渉を適當に處置する能力。

チ、物の調和及配置等に氣をつける。

桃太郎カルタ

米 山 エ ン

此の紙上で桃太郎カルタに就いて皆様方にまみゆるの光榮を深く感謝いたします。

何故桃太郎の童話を題材に撰んだか。

桃太郎の童話は随分古くから人口に膾炙されて來たものであります、今のお爺さん、お婆さんもお父さん、お母さん等、皆様が、がなつかしい伽嘶として聞かされた親しみ深い童話で御座います。然し近來多少これに就き批難なさる方もありますが、私は次の様に考へて居ります以下この童話につき述べさせて頂きます。扱てこの話は。

我國民族の發展の歴史を童話化したものであつて我國今日の發展は歴代の 天皇 が忠勇無二の

國民達とお奮闘を遊ばした賜と存じます。さうした方々の御偉業を童兒に迄知らしめ國家の有り難さを思はしめて、家庭教育の助けとしたものと存じます。實にこの作者は、國家觀念の強い、思想の確かな、方で、しかも幼兒の心理を巧みにつかんで居る立派な文學者であると思ひます。この話の中心思想とでも申しませうか即ち

家族制度のよつて起る、夫婦の愛、男の務、女の務、を明にし、桃太郎の自然の教育、農本國としての本領、義による擧兵等實によく話されてあります。

夫婦愛として男は外に働き、女は家を治める處、

お婆さんが桃を見つける等、自然に人間の發生が女に負ふ處重且つ大であると云ふ風に説かれて性教育の問題を簡單に解決してあります。しかも桃の實を選んだ處に意味慎重なものがあると存じます。(今の性教育から云ふと少しは批難をまぬがれぬ事と存じます。)

實にこの受胎と云ふ事は先づさきに女——母がみとめ然る後男子——父が承認するものであると存じます。こゝに女の志操堅固が強調される所以と思ひます。

老夫婦がまちあぐんで居た子實を得たその感慨の様も伺はれてそこに和氣に充ち満ちた夫婦愛がいとなまれて居ます。

桃太郎はこの間にあつて自然の野原で極めて自然に、自由に教育せられ、立派な生長をして居ます。實に子供の教育上その自然の發育をみつめて育てる事は、一番大切な事と存じます。往々自然

にさからつて子供を毒する事があります、近來子供を野に育てよとよく申します、子供から自然さや、自由さを取り去つたならばどんな事になるでせう。

この桃太郎の自然の教育を誇張する爲と子供の尤も喜ぶ天然の友を配して居ますその述べ方の巧みさ、彼の智仁勇の象徴である犬、猿、雉、を選んだ事は實に妙を得て居ます。

然して自然及これ等を環境として美事な夫婦愛の中でいつくしみ育てた處にこそ教育の要諦があるのです、かくてこそ桃太郎は偉いのであります。

次には農本國としての本領とでも申しませうか、その戰の準備に金を選ばず、兵器を選ばず、兵糧を選びしかも黍のもちを選んだ點はその當時の國民生活の程度も忍ばれ又、戰時の兵糧として至極便利なるものを考へたものであると思ひます。然してその反面に我立國の元たる農を擧げて五穀

の一を知らして居ます。

次には鬼が島征伐のことでありますが、これは確かに義による舉兵であると思ひます、血氣にはやる桃太郎が悪人の横暴跋扈に憤慨し、不義、不正、に對してはあゝまで同宿を許さぬと云ふ義憤、公憤の表らはれと、天地の弘道に基き人間としての平等愛により四海平和に暮し度と希ふ心もちによつて兵を起したのであると信じます。

分捕品についても決して桃太郎から望んだのではなく當然、戰敗國として出さねばならぬ賠償物であります。この童話に就て或人が我國の主義主張の露骨なものであつて、戰鬪侵略主義を表はしたものと批難なさるのでありますが、決してそうではありませぬ、若しかりに侵略主義ならば何故、鬼が島へ我國旗を立て、歸りませんでしたでせうか、この昭和の御代までに數度の干戈を外國と交へて居ます、又徳川時代には平和の内に侵略の出

來た國もあつたと云ふ事です。斯様にして多大の犠牲をはらひながらも領土の擴張は僅少なるものであります、我國民性の淡泊、無慾の點を十分に發揮して居ると存じます。

然してこの凱旋軍を迎へる老夫婦や村人の喜びは又ないものであつて、鬼を無事退治して來たことをよろこび合つて居ます、こゝに民衆愛の發露があり社會と自己との存在がはつきりして來るのであると思ひます。

考へて見ますに人類有史以來戰なくして存續して居る國はまれで、續くも戰ひ、亡びるも戰ひ、であると思ひます、我々人類の上には劍戟の戰か、經濟的の戰か、文化的の戰か、なにかあるものである事を記憶しなくてはならぬと存じます。

私の狭い智識内で知つて居る童話中恐らくこの桃太郎に優つたものは他にないと斷言したいと思ひます、而して幾百春秋を経ても幾多の傑作が出

來てもやつぱり童心藝術の上に燦として光つて居るものと思ひます、又この童話の生命のつゞく限り我國民思想の悪化は斷じてないものと信じます。

斯様の見地からして私はこの童話が大好きでございます、稚氣滿々の處、野趣に富んだ點、私達の知らぬ大祖父さん、大祖母さん、達の子供時代にも今の桃太郎の若さでその幼な心を慰めたものであると思つた時一層なつかしさが増します。それで自然の間にこれを題材としてカルタに作りました。

何故文字を配してカルタとしたか。

幼児と文字慾との關係を可成り調べました、又家庭に於てこの問題をいかに考へて居るかも調べて見ました、その結果が幼稚園教育に於て只觸れてはならぬとして居る事は非常なる不自然な事であつて、むしろ教育的にこの種の幼児の文字慾に對して満足を與へると云ふ方法こそ大きな問題ではないかと思ひました。

然しこれによつて初等教育の方に悪影響を及ぼ

ん事は決して完全な幼児教育とは申されません、來るべき生活に向つて雄々しくも自己を善處して行く幼児に仕上ぐる事が我々の務の第一と存じます。

幼児の文字慾の満足。面白い繪の中に文字を配して玩具として與へる事は一種の文字の遊戯化であります、そして求めたいものは遊びながら自由に文字との交渉を深めて行きます事と信じます。之れ即ち、

文字の潜在意識化。であつて文字習得上非常な精力の經濟であると信じます。ひいては學習生活を容易にするものと考へます。

カルタを取る心持ち。これは、適應、優越の快感とでも申しませうか、一刺戟に對する自己の心的活動の適中その瞬間の快味は又ないものであります。私共大人が何が面白くてカルタ取りに熱中するかと申しますと、勝敗でもなく又あの氣分でもないらしく、眞に取るその事の面白味であると思ひます、それはこんな心理的作用とも考へら

れます。

一つの刺戟に自分の心身が敏捷に働いた、しかも正確であつたと云ふ適應の心よさであり、これが段々と巧みを加へて來ますと相手に強いものがほしくなります、そして悪戦苦闘遂に強敵の札を一枚でも取り得た時の優越の快味は又特別のものです。

これ實に人類生存競争の妙味もこんな處に含まれてあるのではないでせうか。

いかなるものでも自己の優越を欲しないものはありません、この優越感こそ自己の向上を計り國家、社會、を文化に導く大切な本能寺であると思ひます。子供の喧嘩好きは必ずしも故なきではゐりません、第一主義を以てみづから任じたがる子供の心もちはこの優越本能の致す處です。

次に讀札及取り札につきまして一言申し上げたいと存じます。

讀札につき。

片假名にてアイウエオ順に排列してそれぞれの

字に就き五句ほど作つて、一番調子のよい内容のよく表はされたもの、幼児の文學的愛好心にふれたもの、句の内容がはつきりと繪にあらはす事の出来るもの、等思つて考案いたしました。何分まだあきたらぬ點があります十分御教へ下さいませ。

取り札について。

一つ一つの句の内容を一寸見てすぐ取れる様と思ひましたから或は無理な表現になつて居るかも知れませんが、最も原案は可成複雑なものでありましたが。今度フレイベル館から發行するものはほんとに心地よく修正されて居ます。

皆様方の幼稚園で冬の保育の計劃中の一つにこのカルタ遊びをお加へ下さる事や御家庭のお正月中の御團樂のプログラム中に御加へ下さいませ事は、なんとうれしい事とせう、この小さな私の心は只光榮のよろこびに打ふるへて居ります。

何卒この目出度き桃太郎を年の始めからここにとすこやかに遊ばせ下さいませ様。

何分のあいつくしみを御願ひ申し上げます。

休　　の　　日　　に

成城學園　大　塚　喜　一

六二

今日は幼稚園の一人舞臺だと思ひながらいつになくひつそりとした道を行くと、園の少し前でM子さんに會つた。何だか悲しそうな顔をしてゐるので聞いて見ると「幼稚園には誰も居ないの」「何が書いてありましたか」「オヤスミと書いてあつた」「さてはやつぱり!？」と思ひながらともかく一所に行くと、

「本日(十二月二日)オヤスミ」

と掲示板に書いてある。昨日は學園全體の科學藝術祭があつたが、幼稚園は出なかつたので休では無からうと思つてゐたが、昨日漸く決定して急に電話や電報で通知した事であつた。何事も知らず

に來た園兒の柔かい新鮮な心にこれがどう響くかと思へばまことに恐懼する。不得止歸りかけやうとすると、M子さんがお友達を一人肩に手をかけて連れて來た。近づいて見ると泣いてゐる。近頃入園したU子さんである。

「どうしたの?」

「私一人で歸れないの」

「お家は何處」と定期を見ると東中野である。

「電話は?」

「無い」

「來る時は誰と?」

「驛までネーヤに送つてもらふの……歸りはまり

子さんのおばあちゃんとしよに歸る」

「それぢや今日は先生がお家まで送つて歸つてあげますからね」

と慰めたので泣き止んだ。

今日は珍らしく晩秋の空が氣持よく晴れてゐる。風は少しあるが冷く感ずる程でもない。「せつかくいらつしたのだから其邊を散歩しませう」と三人連れていつものよく遊ぶ芝生のスベリへ行くと、眞白な富士が連山の彼方にくつきりと青空に聳えて見える。ほんとに休にするには勿體ないほどよい天氣だ。今日は「幼稚園」といふ生活の輪廓を離れ「先生」といふいかめしい兜を脱いで、自然なあたりまへの（人間的）態度で幼児に接するの機を得た。二人の幼児は交代に盛に僕に話しかけた。寧ろこちらは應答するだけで話しかける間が無い位であつた。——道々見聞するもの、お家のお父さんやお母さんの事、お友達のお事、過去

のうれしかつた経験、等々。話は極めて圓滑らしくに進んで行つた。其間の折々の沈黙の裡にも話の餘韻が漂ふてゐた。組が違ふのでいつもは一所に遊ばない二人も今日は睦まじさうに見えた。かうした私達は、山林を通りぬけてM子さんの家でお辨當を頂き、驛へと歸る道すがら、嘗て僕が郷里の母園の修了兒童數名を招いて春の野に遊んだ時の事を思ひ出して、久しぶりで兄ちゃん時代に歸つたやうな氣がした。U子さんの隣に腰かけて電車で歸る折も、今日は童心の寶玉を拾ひあげたやうに思はれた。今日こそは、子供の生活の中に幼稚園を見出し得たのではあるまいか。たつた二人の子供では保育も何も出來はしないと云はれるかも知れない。實際もう少しお友達が欲しいやうな氣もしたが、しかし幸福な愉快なこの生活が現存せし事を何人が否定し得やうぞ。御蔭で今日は「いけません」を言はずに済んだ。他園參觀よりも、登山や旅行よりも、今日は思ひがけない経験を待たす事を神に感謝する。

丸ばかりで作る切抜細工

山形寛

一 概 説

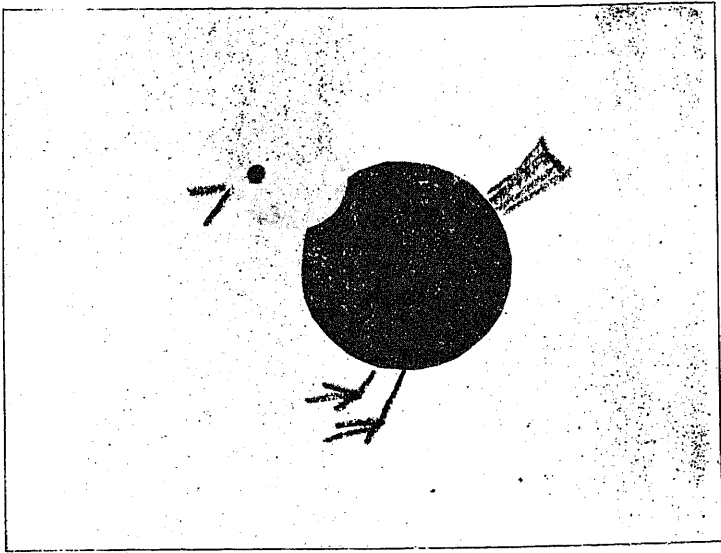
此所に示した五つの切抜細工は、全部丸ばかりで作つた切抜細工であることは挿圖を見られれば解る通りである。

かう云つたやうな細工は、材料はいくらでもあ
る。こゝに掲げたのはほんの一例に過ぎないので
考へればもつと趣の異なつた多くの人物や、鳥類
は勿論、獸類の幾つかも容易に作れるであらう。
そして作り方は甚だ簡單であるから、幼兒にも充
分出来る程度のものである。

然しかう云つたやうな、きまり切つた形のもの

ばかりで構成することは甚だ概念的なものとなつ
てしまふ恐れがあるから、五つか六つ位やらせる
程度に止めて置きたいと思ふ。少類やらせ置く分
には決して害はないばかりでなく、相當構成力や
抽象する力を養ふ上の利益があらうと思ふ。

この細工に用ふる丸は、小さいものは總て丸形
の打抜で打抜いてやつたものを用ひさせるがよい
大きいものは大きな打抜があれば打抜いてやつて
もよいが、それよりもブリキ板かボール紙かで數
種の型を作つて置き、その型を色紙の裏に載せて
周圍を鉛筆でなすつて形を寫し、それを缺で切り
とらせるがよい。



第一圖

こゝに示した挿圖は總て十六切の畫用紙を臺紙とせる大きさのものであるが、その大きにすると、最後の二つの人物の如きは、あまり小さな丸を澤山用ひなければならぬことになつて、貼るのに困難であるから、これだけは八切大の畫用紙を臺紙とせる程度の大きにするがよい。臺紙には挿圖のものは總て白い色の畫用紙を用ひたけれども、羅紗紙とか茶ボール紙の薄いものとか、ハトロン紙の厚いものとか云つたやうな、色のある（あまり濃い色のものは不適當である）紙を用ふれば一層妙である。

扱て作り方の極大體を説明しやう

二 小鳥

第一圖は小鳥である。大小二箇の丸を作り、先づ體になる大きな丸を中央より一寸かたよせて貼り、次に頭の丸を貼り、糊が乾いてから嘴眼脚尾

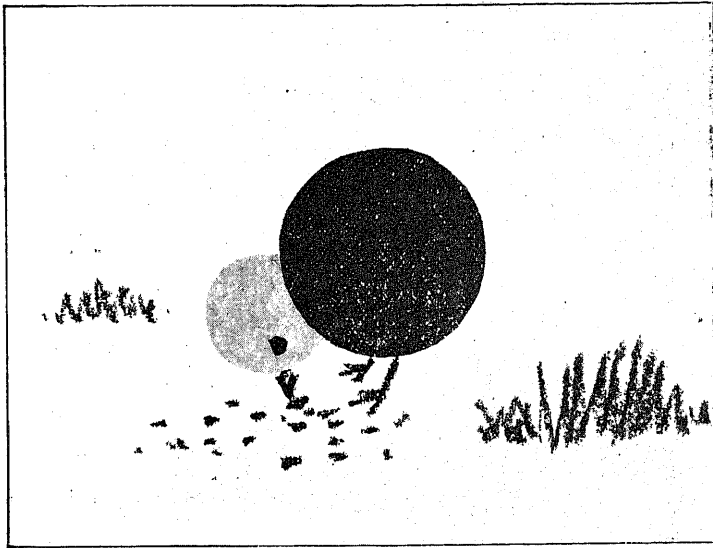


圖 二 第

などをクレイヨンで畫くのである。

この小鳥は、體と頭との位置をどの様につけても小鳥に見えるもので、嘴の如きも後向につければ、小鳥のよくやる後をより返つて居るやうなものとなつて、よほど拙くやつても小鳥らしくなるものである。

眼はなるべく嘴の近くに畫くと、りこうさうな顔になるものである。あまり頭のまん中に近く畫くと間が抜けるものである。

この細工で最もむづかしい所は脚のつけ方であるから、こゝはよく見てやるがよい。

三 ひよこ

丸の大きさは小鳥と同様なものを使ひ、その結合も大體同じであるが、挿圖に示したものは頭の方を先に貼つてある。

丸が貼れたら、嘴、眼、脚、餌、草などをクレ

イヨンで書くのである。嘴は長くならないやうに
書くことが必要である。脚も亦短い方がよい。

思つたならば、畫用紙八切大の臺紙に二羽向き合
ひに居るところを作つてもよい。

四人

第三圖は人である。大小二箇の丸
から成つて居ることは、圖を見れば
解る通りである。

この人には手を畫き込まないでも
よい。或はこの上に小さい丸を二つ
貼つて足を作らせてもよい。

顔は別に困難なことはないが眼は
中央より下につけるがよい。挿圖の
ものよりもつと下でもよい眼を上
につけると可愛くならないものであ
る。幼児期の子供の顔は眼の位置が

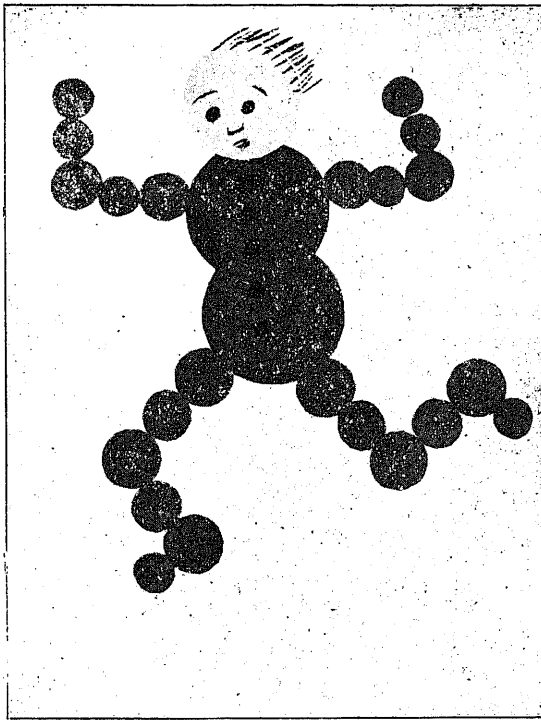


第三圖

このひよこにも三角形をした尾をつたり、羽を
畫いたりしてもよい。又一羽だけではさみしいと

頭の下から約五分の二位の所にあるもので、男子
の大人が中央より心持ち上になる位のものであ

る。實際の顔はかう云ふやうになつて居つても眼から上には畫くべきものが少く下には鼻とか口と



第四圖

五 ダンスをしてゐる人

第四圖は少し澤山の丸を使つて人を作つて見たのである。これを作るには、貼る前に丸をみんな并べて姿勢をよく見してから一つづゝ貼つて行けばよいのである。かう云ふ作り方のものは「ダンス」なんてしないで只立つて居る所のものにしてもよいのである。

六 駈けてゐる人

第五圖は前のものと同じやうな方法で、駈けてゐる所の姿勢を作つて見た。勿論實際に駈ける時の姿勢はこんなではないけれども、感じを強め且つ作り易くするためこんな姿勢にしたのである。

か云ふ印象の深いものがある關係で、子供等は大抵眼をずつと上に畫くものである。

これは體は二箇の丸で作り、手や足に大さの異なつた丸を混せて使つて見たのである。

供にも考へさせて作らせて見るがよい。

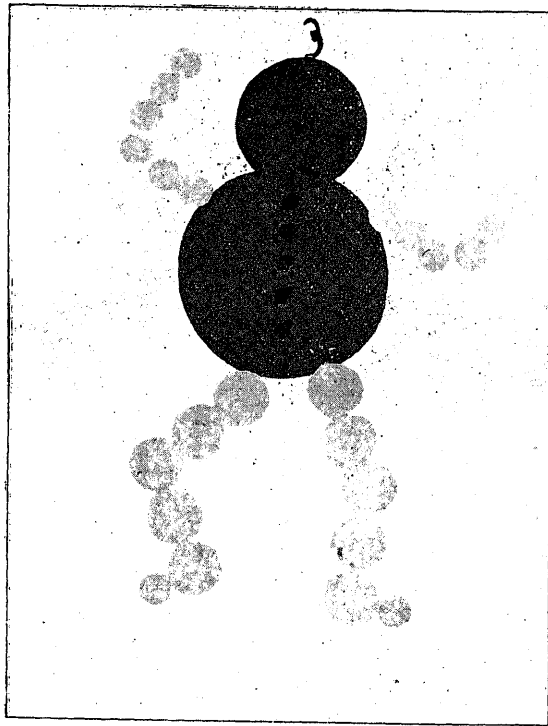


圖 五 第

以上述べた所は丸を用ひて作る一例に過ぎないのであるから、先生ももつと面白いものを考へ子

福壽草

七〇

大 岩 金

お目出度いお正月に際しまして今回は別に事新しいものでもありませんがこの草をえらびました福壽草はまたの名を福神草とか長春菊とか申します。そして新春の床飾りに松、竹、梅、水仙などと共に水盤や、鉢に、又はそれ等の下草として賞玩されるのでありますが、是は只にその名のお

目出度いばかりでなく花形も圓滿で色彩もやはらかく、而も花命の長いこと及び寒中花の少ない時にいち早く咲き出でますなどの點でよく萬人に賞揚されるのだらうと思ひます。しかし是が何時の頃からかく新年の花として愛玩されるやうになつたかは不明であります。が花壇地錦抄に始めて祝儀

の花として書いてあるのが文献に現れました始めださうであります。今一つこの花の誇と致します事は數ある花、殊に當今は舶來の花の多い中における福壽草は純日本種である事であります。

さて以下に栽培法のあらましを記します。

一、株分法

繁殖は實生に依つて致します事もありますが、これも是は多くは新品種を得る場合の事でありまして一般には株分法に依るのであります。しかしこの株分法とても他の草花程に容易に數株に殖すといふやうにはゆかないのであります。それと申しますのはこの福壽草は比較的芽が出難い性質をも

つてゐるからであります。さてその出難い芽をどうして出させるかと申しますに福壽草の根は莖の下部に二、三段になつて節の周りに長いのが輪状に出るものでありましてその各節には發芽し得る能力をもつて居りますからこの根のついた莖の間を切斷するのであります。そしてその切口に灰の類を塗りまして腐敗を防ぐのであります。又その時注意せねばなりません事は長いからとて決して根の尖端を切捨てない事であります。應々花戸などが手鉢に配します時に邪魔扱してその先を切る事がありますがかく致します時に開花に影響致します事は勿論ですが時にはそれ自身枯死するやうな事もあります。かく切斷致しました各株は地中 埋めおきますればやがて上部より發芽致します。しかしこの根のある各節を切斷する事なくして地に埋めおきます時は只に最上部のみから發芽して他の節の芽は伸長する事なく休んでゐるので

あります。

時期は土用明日頃から九月迄に行ふのがよいといはれて居ります。

二、移植

右の期間内に芽分けを致しますには掘り取りますにも切斷するにも亦植込みますにも極丁寧に扱ひましてこの軟かい長い根をなるべく傷つけないやうにして鉢なり床地なりに移すのであります。

鉢に致します時はなるべく深いものを選びまして根を充分に伸ばしてやりたいのであります。又大きさも相當に大きい方がよろしく質も瀬戸鉢よりも素焼鉢の方がよろしいのであります。植ゑ方は他の草花と別に變りはありませんで五寸鉢に株の大小に依り一―三個位を入れ、ばよいのであります。是が群生して居りますからやゝもすれば根と根との間に土が入り難い感がありますからこの點には注意して棒の如きを用ひましてよく根の間

にも土を入れるのであります。かくして植ゑました鉢は十月から翌春五頃月まではなるべく日當りのよい所に置き六月から九月頃まではあまり強い光線の當らない所におくのであります。

床地の場合は鉢植に準じて是に近い状態にすればよいのであります。

三、用土

腐植質に富んだ砂質壤土がよいのであります。その混合の割合は人に依りまして色々ありますが一例を示しますれば腐葉土と壤土とを等量にして是に川砂一を混じたもの又は壤土六、腐葉土二、赤土二の割合に混ざるなどであります。要するに排水のよい軟土がよいやうであります。

四、肥料

開花までに數回油粕の腐汁の稀いものを與へるのであります。植込の際基肥として堆肥の如きを混じりておきますれば更によい成績が得られます。

又花謝後に鉢植のものは地に下しまして充分に施肥してやります事も亦來る年の準備として大切な事であります。しかし新鮮な肥料、濃厚なものは却つて根を害しますから注意せねばなりません。

五、開花法

元來福壽草の開花期は早いので一月の下旬それから二月から三月にかけて咲くのが普通でありますからそれではお正月の間には合ひませんから普通にお正月に出して居りますのは簡単な促成開花をさせてゐるのであります。即ち十一月中下旬になりまして産地から持ち來り淺い箱に植込みまして是を木框内に入れ硝子障子を覆ひまして日光に當て夜間は上に籐苔の類を覆ひ保温するのであります尙このやうに致しまして豫定の頃に開花致しませんやうでしたならば數日前に溫室内に入れますならば日ならずして開花するやうになりますので年末始に間に合ふのであります。

六、産地

青梅、佐渡、秩父、北海道などは主なるものであります。わけても秩父は産額も多く樹勢も強健なため東京の店頭にはかなり澤山に賣り出されて居ります。



定規文注

告

稟

- 一、幼稚園及び小學校、家庭、育児、看護等に關する論說調査研究等の寄稿を歓迎いたします。
 - 一、寄稿は一行二十四字詰に記して下さい。但改行は一字下げること、また句讀點は一字あけること。
 - 一、寄稿並に本誌の編輯に關する通信、紹介及び寄贈の新刊書、交換雜誌、入會手續、更に本誌の購讀及び廣告に關する通信並に照會等一切左記編輯兼發行所宛に願ひます。
- 東京女子高等師範學校附屬幼稚園内
- 日本幼稚園協會
- 一、本誌御注文の方は凡て前金(郵税共)で願ひます。(郵券代用の場合には總て一割増)
 - 一、御送金の場合にはなるべく振替貯金で振替口座東京一七二六六番日本幼稚園協會宛に願ひます。
 - 一、送金の節には第何巻第何月號より第何月號迄と明記せられたし。
 - 一、本誌の代金に對しては別に領收證を差出しません。特に御入用の方は往復はがきで御申越を願ひます。
 - 一、會費切又は前金切の際にはその最終發送の雜誌の帶封に「前金切」の印章を押捺いたしますから其節は早速御送金を願ひます。
 - 一、本誌の見本御入用の場合には前金參拾五錢發送を願ひます。

告 廣

特等面一頁 金參拾圓
 二等面一頁 金貳拾圓
 一等面一頁 金貳拾五圓
 一頁以下御斷

神田區南甲賀町八品田奥松に御申込下さい。

發 行 所

東京女子高等師範學校附屬幼稚園内
 日本幼稚園協會
 振替口座東京一七二六六番

不 許 複 製
 禁 轉 載

編輯兼發行所 堀 七 藏
 東京府豊多摩郡戸塚町大字戸塚五七五
 印刷者 須 藤 紋 一
 東京市麴町區飯田町二丁目五十番地
 印刷所 京華社印刷所

昭和五年一月十二日印刷納本
 昭和五年一月十五日發行
 幼兒の教育 第三十卷第一號

價 定

一ヶ月分一冊	金參拾五錢	送料壹錢
半ヶ年分六冊	金貳圓拾錢	送料共
一ヶ年拾貳冊	金四圓貳拾錢	送料共

(外國行郵税は一部金拾貳錢の割にて御拂込下さい)

廣島高等師範學校教授 文學博士 久保良英先生新著

四六判全一冊洋綴 定價金貳圓 送料金十八錢

新刊 愛兒良毅の教養

本書の全文は悉く眞摯なる學者の兒童教養實驗記録で有

久保博士の令息良毅君は僅か九歳の年齒を享けて其餘りに短き生涯を終られた。博士は本書自序の一節に「良毅は私の學位論文の中の言語の發達の資料を供給して呉れた」とある如く、君は其生前博士の兒童研究のよき伴侶でありよき對象であつた。博士は今其悼み、其悲み、其涙を新にして以て本書を著す、且「彼の生立の全部を心理學的に記述して多少なりとも彼の此世に於る存在の意義を更に深め度」と敬虔なる學者的願望を述べられて居る。言ふ迄もなく博士は實驗心理學殊に兒童心理の一權威、この純情を以て綴られた本書の一字一句は兒童研究としての學的價値は言ふに及ばず、尙且貴重なる育兒の記録として總ての教育家及師父に裨益する所多しと信ず、御必讀を乞ふ。

文學博士

久保良英著

實驗心理學精義

好評赫々

三版 簡單なる行動篇
三版 複雑なる行動篇

菊判全一冊紙版八百頁洋綴貳圓
定價金六圓 送料金廿七錢
菊判全一冊紙版八百頁洋綴貳圓
定價金六圓 送料金廿七錢

久保博士の實驗心理學精義は蓋し學界の至寶である。日本唯一の肉體兒研究、所を創設し鋭意研究として、實驗心理學の檢討に餘念なき著者は前篇簡單なる行動篇、後篇複雑なる行動篇を著しその研究方法は發的及總的兩者交互に説叙し未決の問題は之れを未決の問題として略し、且つその結果相背馳せるものに對しては決して獨斷的私見を取らず、始終一貫正なる學者的立場より世界の心理學者が開拓せし所、又はせんとする所に周到懇切に詳述せるものなるを、學界最新學說の充滿せる事を俟たず、且つ本書述の最も特長とする所は其の研究發表が、唯單に學的的研究者の學的的なる止めず、實學的臨床方面に多大の意を注ぎたる點で、學校教育家、軍隊工場管理業者等すべての集團的當事者に取つても必ず學的的の指針として貴重なるものである。如上關係者の外交檢受驗者の必讀すべき資料たり必讀を乞ふ。

發行所 東京市牛込區中野文庫館書店 電話 東三三三 八三三 四二二 七二五 番

倉橋惣三先生選
堀七藏先生選

子供のつくった

コドモカルタ

定價金三十五錢

東京女子高等師範學校附屬幼稚園の幼
兒達が作ったイロハカルタから子供ら
しいよいものを選定し、その文句に合
せて幼児のかいた畫を組合せたもの
で、子供の標準カルタであります。幼
稚園でも家庭でも是非御使用あらんこ
とをお勧めいたします。

大防市米山えん先生案
大阪市保育會推奨

◎ 桃太郎カルタ 定價三十錢

「尻をひつて尻つぼめ」「カツタイノカ

サウラミ」

といふ様な「カルタ」を神さながらの
子供にどうして與へられませう。本「カ
ルタ」は子供の生活にびつたりと合つ
た教育的のものであります。

東京、神田、教育會館内

株式會社 フレーベル館

電話九段 (代表)三八二七
三三三四
三三六三
三三三七

振替口座東京一九六四〇

定價三十五錢

昭和四年五月十五日第三種郵便物認可
昭和五年一月二十二日印刷納本
昭和五年一月十五日發行
(毎月一回十五日發行)